

平 成 18 年 度

野々市町の教育

野々市町教育委員会

はじめに

野々市町教育委員会では、確かな学力を育み、心豊かで想像力に富む人材の育成や生涯学習の充実、また、スポーツ・文化の振興を図るため、様々な施策を積極的に推進しています。

学校教育においては、将来を担う子どもたちの心身ともにすこやかな成長を目指し、人間形成の基礎・基本をしつかり身につけさせるとともに、確かな学力と豊かな心、個性と創造性に富む生き生きした児童生徒の育成に努めます。

また、学校施設設備の整備を進め、新しい教育内容や教育活動に効果的な対応ができるように努めます。

文化振興においては、芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、新しい町民文化の創造を目指します。

スポーツ振興においては、世代を越えた人々との交流を図りながら、健康で活力に満ちた生活を実現するため、スポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会の充実に努めます。

生涯学習においては、青少年の健全育成や活力を引き出す機会の充実を図るとともに、町民参画の生涯学習活動を展開するための環境整備と学習機会の充実に努め、一人ひとりが生きがいを持って過ごせるように努めます。

また、全国的に多発している子どもを狙った悪質な事件を防止するため、防犯対策の徹底を図るとともに、子どもたちが自ら身を守り、危険を回避する力につける安全教育を推進しております。

今日、教育全般に対する課題は山積しておりますが、課題を真摯に受け止め、野々市町の将来を展望する中で、町民の皆様の期待に添える教育行政を展開して参りたいと思っております。

皆様には、本冊子を通じまして野々市町の教育の一端をご理解いただき、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年7月

野々市町教育委員会
教育長 田 中 宣

愛と和の町民憲章

遙かに靈峰白山を仰ぐ野々市町は、古くから加賀の中心として栄えたところです。

わたくしたちは、この恵まれた自然環境と歴史・文化・産業の豊かな町に住むことを大きな誇りとし、限りなく平和で繁栄することを願い、ここに町民憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、緑ゆたかな

住みよい町をつくりましょう。

1. 伝統を重んじ、教育文化の

香り高い町をつくりましょう。

1. 健康を増進し、活気みなぎる

明るい町をつくりましょう。

1. 勤労を尊び、感謝と奉仕の心で

温かい町をつくりましょう。

1. 秩序を守り、笑顔でふれ合う

和やかな町をつくりましょう。



町花木 ツバキ

目 次

I. 町勢概況	1
1. 野々市町のあゆみ	1
2. 人口と世帯数の推移	2
3. 平成18年人口ピラミッド	2
II. 予算の概要	3
1. 野々市町一般会計予算の規模	3
2. 施策の重点	3
3. 教育予算の規模	3
4. 一般会計予算額の構成比	4
5. 教育予算額の構成比	4
6. 教育予算歳出の状況	5
III. 教育基本目標及び基本方針	6
IV. 教育行政	7
1. 教育委員会会議	7
2. 教育委員会機構図	7
V. 学校教育	8
1. 基本方針及び重点事項	8
(1) 基本方針	8
(2) 重点事項	8
2. 町立小・中学校教育目標	9
3. 学校教育施策体系	12
(1) 教育活動	13
(2) 児童・生徒	15
(3) 教育環境	15
(4) 研修	16
4. 教育施設	17
(1) 学校施設	17
(2) 通学区域	18
(3) 町立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数	18
(4) 町立小学校数・学級数・児童数及び教職員数	19
(5) 特殊学級の状況	19
(6) 町立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数	19
(7) 中学校卒業生進路状況	20
(8) 児童・生徒の推移	20
(9) 私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数	21
(10) 石川県立養護学校学級数・児童・生徒数及び教職員数	21
(11) 石川県立明和養護学校学級数・児童・生徒数及び教職員数	22
(12) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数	22
(13) 石川県農業短期大学学生数及び教職員数	22
(14) 石川県農業短期大学学科別学生数	23

(15) 石川県立大学学生数及び教職員数	23
(16) 石川県立大学学科別学生数	23
(17) 金沢工業高等専門学校学級数・生徒数	24
(18) 金沢工業高等専門学校学科別生徒数	24
(19) 金沢工业大学学生数及び教職員数	24
(20) 金沢工业大学学科別学生数	25
小学校・中学校の校名のいわれ、校旗及び校章の意味	26
VI. 生涯学習	28
1. 基本方針及び重点事項	28
(1) 基本方針	28
(2) 重点事項	28
2. 生涯学習施策体系	29
(1) 体制の整備	30
(2) 活動の推進	31
3. 生涯学習施設	42
(1) 施設の概要	42
(2) 施設利用の仕方	42
(3) 施設利用状況	43
(4) 町立図書館分類別蔵書構成	43
VII. 文化	44
1. 基本方針及び重点事項	44
(1) 基本方針	44
(2) 重点事項	44
2. 文化施策体系	45
(1) 芸術文化の振興	46
(2) 文化財の活用と保存	51
(3) 野々市町史編纂事業	56
VIII. スポーツ振興	57
1. 基本方針及び重点事項	57
(1) 基本方針	57
(2) 重点事項	57
2. スポーツ振興施策体系	58
(1) スポーツ振興体制の確立	59
(2) スポーツ活動の推進	59
(3) スポーツ団体の育成	60
3. 体育施設	65
(1) 社会体育施設	65
(2) 学校体育施設	67
資料	
各種委員会委員等	70
歴代教育委員	78
町内施設住所・電話番号一覧	79
町内施設配置図	80

I. 町勢概況

1. 野々市町のあゆみ

靈峰白山を望む手取扇状地の扇央東部に位置する野々市町には、縄文時代後期中葉より晩期全般にわたる大集落跡である史跡御経塚遺跡をはじめ、巨大な塔心礎や古瓦・土器類が無数に出土した白鳳時代の大寺院の跡である史跡末松廃寺跡など数多くの遺跡が所在しています。特に末松廃寺跡は、加賀の古代文化の鍵をにぎるものとして注目を浴び、我が国ではじめて造られた銀錢「和同開珎」も発見されています。

中世においては、国司として赴任した富樫氏が、永延元年（987年）富樫忠頼卿以来、5百余年代24代富樫政親が加賀一向一揆の衆徒に滅ぼされるまで富樫氏は野々市で国政を執りました。その結果、当地は戸数5千戸を越える加賀における政治・経済・文化の中心地として栄えたと伝えられています。

藩政時代は北陸道の一宿駅として名をとどめていましたが、明治末から大正にかけて全国にさきがけて耕地整理が行われ穀倉地帯として、名実ともに加賀米の中心地となって農業が盛んに行われてきました。

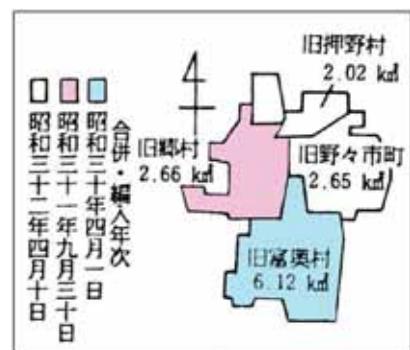
また昭和30年から32年にかけて野々市町と富奥村、郷村、押野村の一町三村が合併編入して新しい野々市町が生まれました。

以来、石川県のほぼ中央に位置し、交通の要衝として商業と近郊農業を産業の核として、土地区画整理事業の施行により急速に都市化が進み、また「自安和楽と椿の里」として古くからの伝統ある歴史文化と新しい躍進の息吹きとが調和した県下最大の人口をもつ雄町として発展しています。



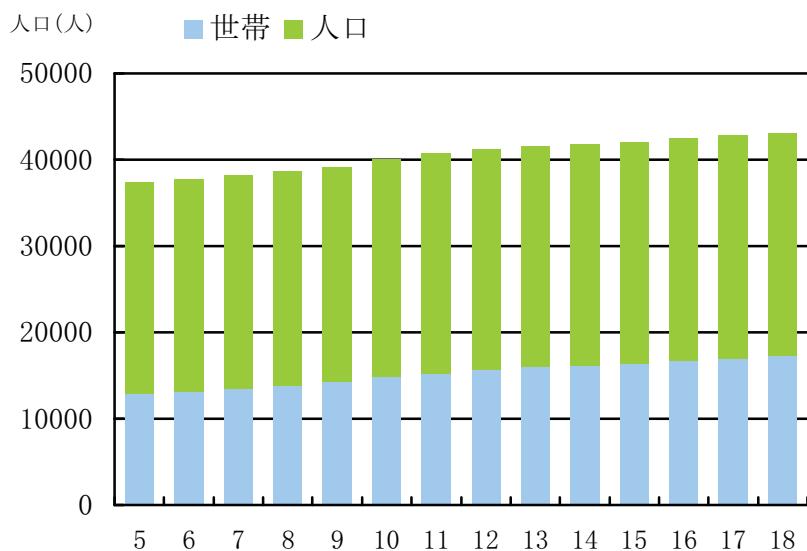
町 章

昭和35年6月15日制定。章は平仮名で“のの”を組合せ分銅を形成し、町の融和と発展を象徴した簡潔清爽な意匠である。



野々市町は石川県のほぼ中央部に位置し、山海のない全くの平坦地で北と東側を金沢市、南側を鶴来町、西側を松任市とそれぞれ接しています。
北緯 $36^{\circ} 31' 45''$ 東西 4.5 km
東経 $136^{\circ} 37' 60''$ 南北 6.7 km
海拔最高／最低 $49.9 / 9.8\text{ m}$
面積 13.56 km^2 (建設省国土地理院の調査による)
石川県面積に対する割合…… 0.32%

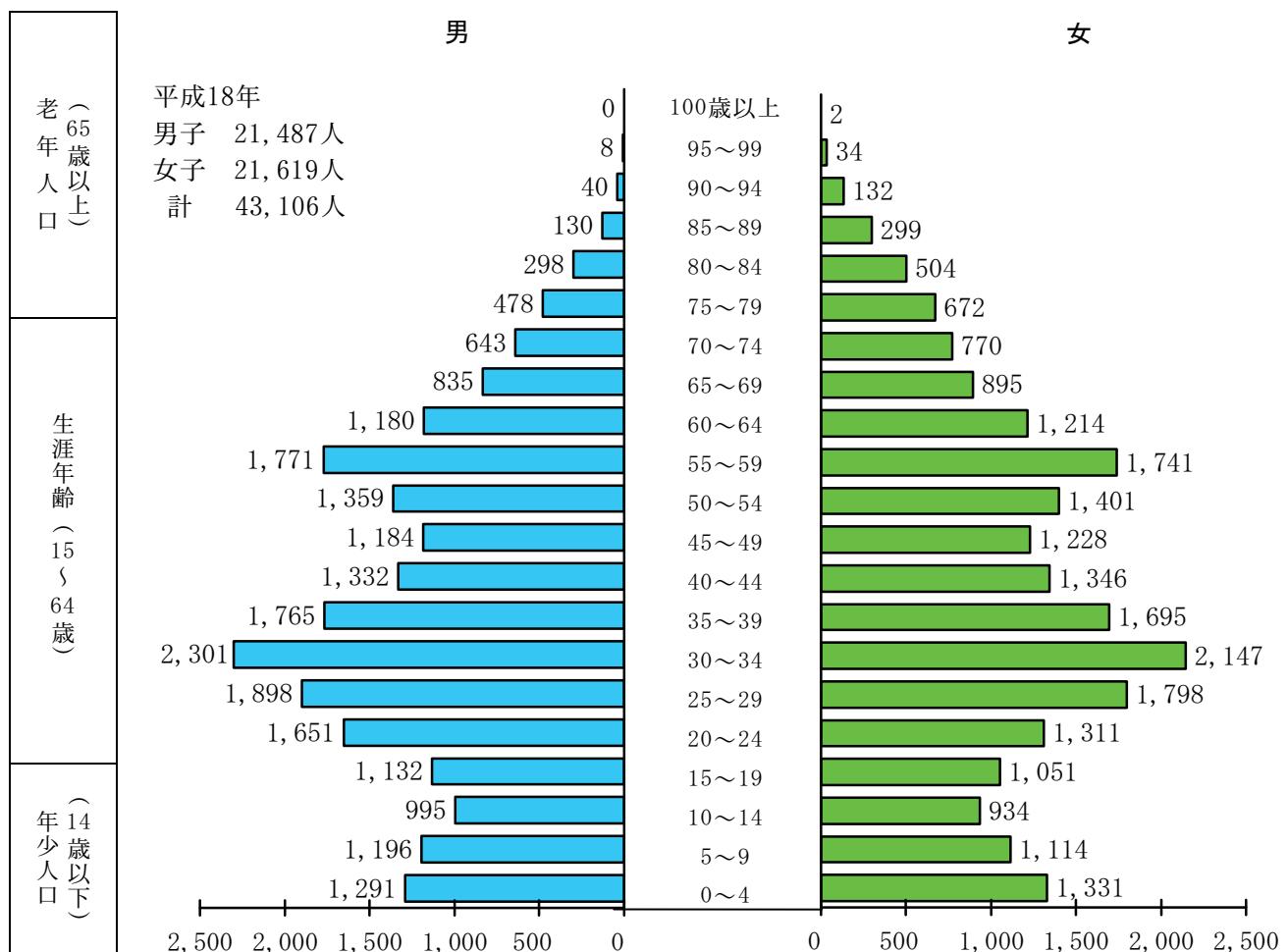
2. 人口と世帯数の推移



各年3月31日現在

3. 平成18年人口ピラミッド

平成18年3月31日現在



II. 予算の概要

1. 野々市町一般会計予算の規模

平成18年度当初予算額	120億3,000万円
平成17年度当初予算額	116億3,000万円
対前年度比較	4億円
増減率	3.4%の増

2. 施策の重点

☆ 共有と連携のまちづくり☆

『地域のあたたかい力で支えあう 安全・安心のまちづくり』

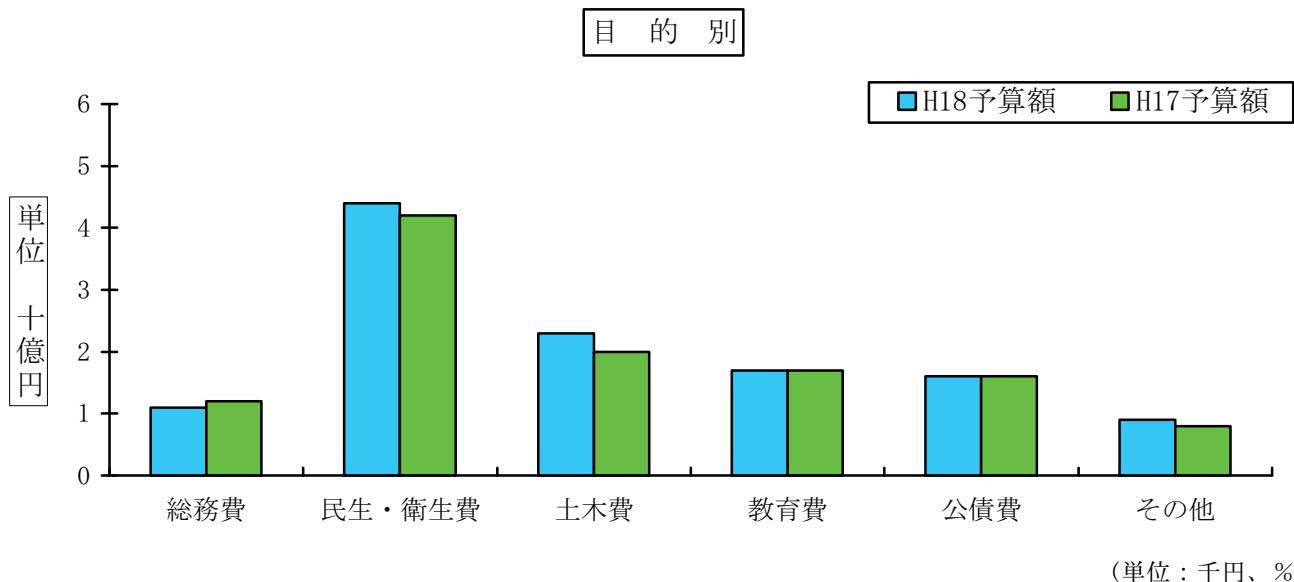
【基本目標】

- ◎ 人が集う魅力ある都市
- ◎ 緑に包まれた暮らし心地のよい都市
- ◎ 思いやりに支えられる心やさしい都市
- ◎ 元気で楽しく暮らせる都市
- ◎ だれもが参画できる都市

3. 教育予算の規模

平成18年度当初予算額	16億9,256万3千円
平成17年度当初予算額	17億3,066万5千円
対前年度比較	△3,810万2千円
増減率	2.2%の減
対一般会計構成比	14.1%

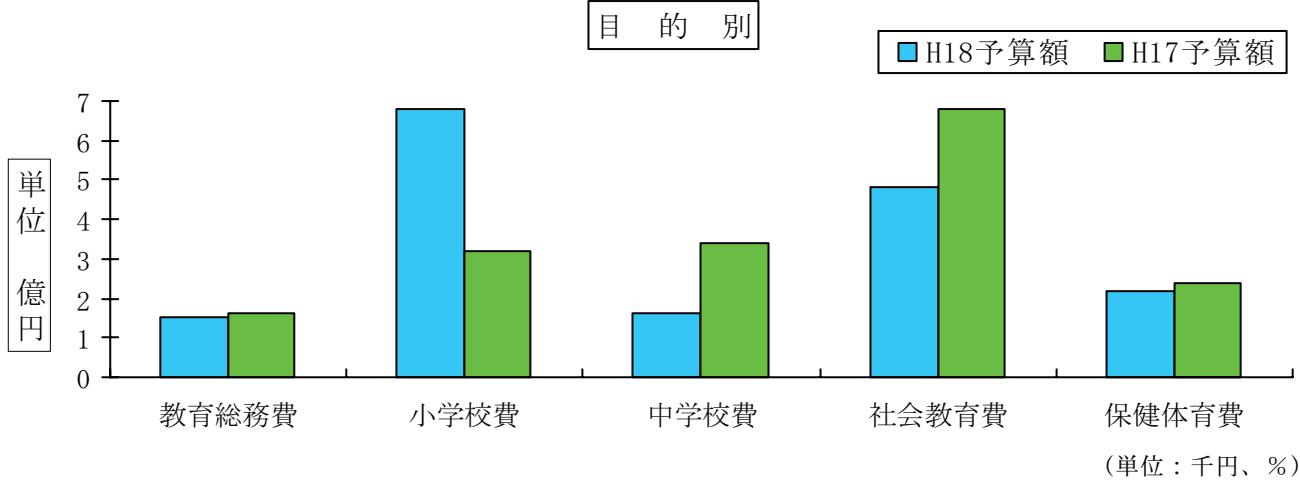
4. 一般会計予算額の構成比



区分	平成18年度		平成17年度		増減C	増減率
	予算額A	構成比	予算額B	構成比	A-B	C/B×100
総務費	1,145,290	9.5	1,172,054	10.1	△ 26,764	△ 2.3
民生・衛生費	4,449,960	37.0	4,245,586	36.5	204,374	4.8
土木費	2,284,196	19.0	2,025,967	17.4	258,229	12.7
教育費	1,692,563	14.1	1,730,665	14.9	△ 38,102	△ 2.2
公債費	1,601,624	13.3	1,615,895	13.9	△ 14,271	△ 0.9
その他	856,367	7.1	839,833	7.2	16,534	2.0
合計	12,030,000	100.0	11,630,000	100.0	400,000	3.4

その他（議会費、労働費、農林水産業費、商工費、消防費、災害復旧費、諸支出金、予備費）

5. 教育予算額の構成比



区分	平成18年度		平成17年度		増減C	増減率
	予算額A	構成比	予算額B	構成比	A-B	C/B×100
教育総務費	154,856	9.1	159,218	9.2	△ 4,362	△ 2.7
小学校費	684,666	40.5	315,842	18.2	368,824	116.8
中学校費	158,052	9.3	335,293	19.4	△ 177,241	△ 52.9
社会教育費	475,511	28.1	677,821	39.2	△ 202,310	△ 29.8
保健体育費	219,478	13.0	242,491	14.0	△ 23,013	△ 9.5
合計	1,692,563	100.0	1,730,665	100.0	△ 38,102	△ 2.2

6. 教育予算歳出の状況

(単位:千円)

区分	平成18年度		平成17年度		増減	前年比 (%)
	当初予算額 (A)	構成比 (%)	当初予算額 (B)	構成比 (%)	A-B (C)	C/B × 100
教育費	1,692,563	99.52	1,730,665	99.37	△ 38,102	△ 2.20
1 教育総務費	154,856	9.11	159,218	9.14	△ 4,362	△ 2.74
1 教育委員会費	2,437	0.14	3,121	0.18	△ 684	△ 21.92
2 事務局費	141,276	8.31	146,783	8.43	△ 5,507	△ 3.75
3 特殊教育費	522	0.03	823	0.05	△ 301	△ 36.57
4 教育センター費	10,621	0.62	8,491	0.49	2,130	25.09
2 小学校費	684,666	40.26	315,842	18.14	368,824	116.77
1 管理費	627,641	36.91	245,647	14.10	381,994	155.51
2 教育振興費	57,025	3.35	70,195	4.03	△ 13,170	△ 18.76
3 中学校費	158,052	9.29	335,293	19.25	△ 177,241	△ 52.86
1 管理費	70,599	4.15	249,813	14.34	△ 179,214	△ 71.74
2 教育振興費	36,986	2.17	34,732	1.99	2,254	6.49
3 給食センター費	50,467	2.97	50,748	2.91	△ 281	△ 0.55
4 社会教育費	475,511	27.96	677,821	38.92	△ 202,310	△ 29.85
1 社会教育総務費	80,575	4.74	91,106	5.23	△ 10,531	△ 11.56
2 青少年教育費	12,757	0.75	11,834	0.68	923	7.80
3 社会教育振興費	54,398	3.20	66,576	3.82	△ 12,178	△ 18.29
4 図書館費	15,506	0.91	15,992	0.92	△ 486	△ 3.04
5 文化財保護費	159,077	9.35	242,573	13.93	△ 83,496	△ 34.42
6 文化振興費	153,198	9.01	249,740	14.34	△ 96,542	△ 38.66
5 保健体育費	219,478	12.91	242,491	13.92	△ 23,013	△ 9.49
1 保健体育総務費	53,040	3.12	60,699	3.49	△ 7,659	△ 12.62
2 保健体育施設費	147,758	8.69	163,755	9.40	△ 15,997	△ 9.77
3 保健体育振興費	18,680	1.10	18,037	1.04	643	3.56
労働費						
1 労働諸費						
2 女性センター費	8,085	0.48	10,900	0.63	△ 2,815	△ 25.83

III. 教育目標及び基本方針

【教育目標】

21世紀を迎える、情報化、少子高齢化、国際化及び環境問題など激しい社会の変化の中、教育改革が進められている。

本町教育委員会は、教育の目的は人格の完成を目指すこととした教育基本法の崇高な理念をふまえ、町民一人ひとりが互いの個性や人間性を尊重しながら、生涯にわたって自らの人格形成に励み、平和で豊かな地域社会づくりに貢献できるような人間の育成を目指す。

このため、以下の「基本方針」に基づき、総合的に施策を推進するとともに、学校・家庭・地域の団体・関係機関が相互に連携しつつ、その教育的役割を十分に果たすように努める。

【基本方針】

- 1 基礎的・基本的な学力の向上を図り、個性と創造性に富む生き生きした児童生徒の育成をめざす。
- 2 知・徳・体の調和のとれた教育に努めるとともに、体験学習の充実を図る。
- 3 町民参画の生涯学習活動を展開するための環境整備と学習機会の充実を図る。
- 4 家庭・地域の教育力を高め、青少年が心豊かに育つまちづくりを進める。
- 5 芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、新しい町民文化の創造をめざす。
- 6 郷土の伝統芸能を保存継承するとともに、文化財の保護活用を図る。
- 7 健康で活力に満ちた生活を実現するため、スポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会の充実を図る。

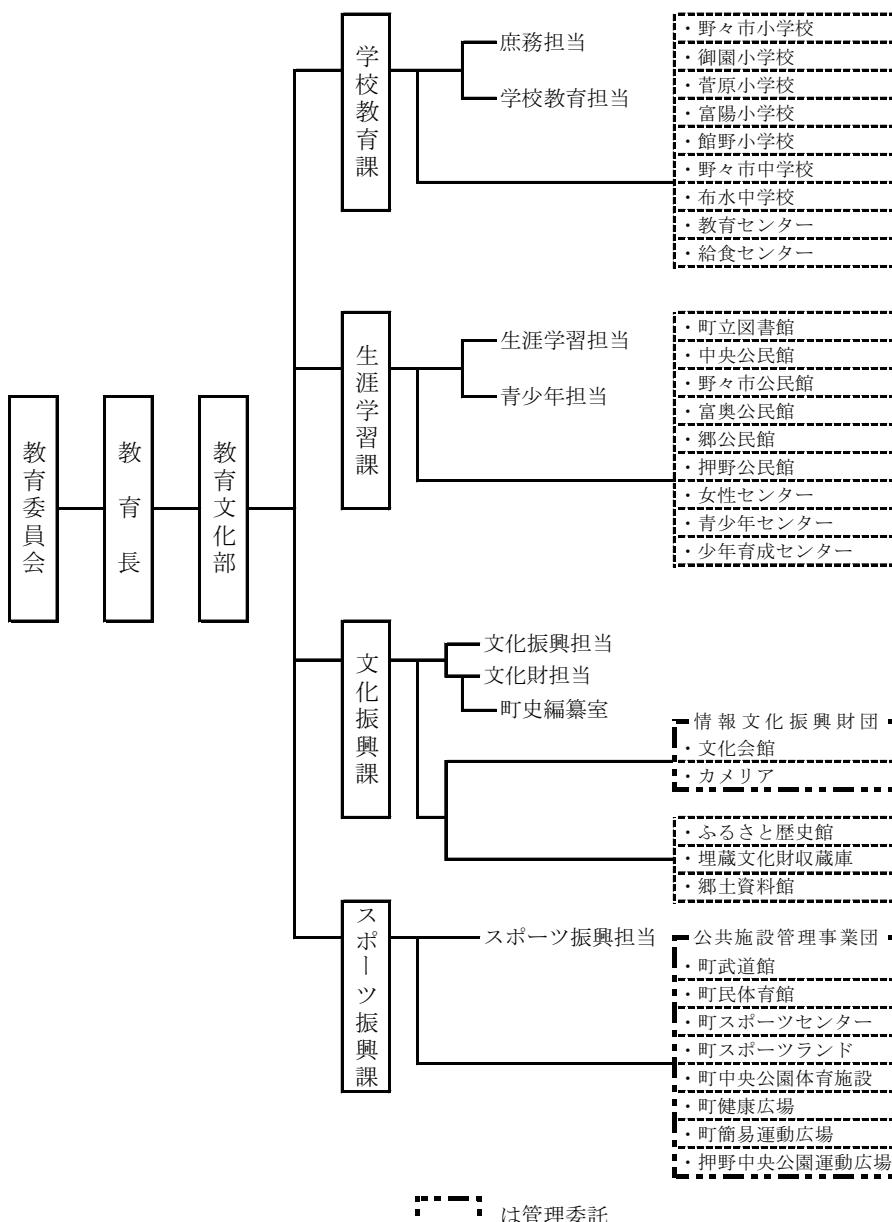
IV. 教 育 行 政

1. 教育委員会会議

各年12月末日現在 (単位:回、件)

年	招 集 回 数		議 案
	定 例 会	臨 時 会	
平成 12 年	12	2	43
13	12	4	30
14	12	2	34
15	12	2	19
16	12	3	32
17	12	2	42

2. 教育委員会機構図



V. 学校教育

1. 基本方針及び重点事項

(1) 基本方針

人間尊重と相互信頼の精神に基づいた自主・自立性を培い、知・徳・体の調和のとれた個性豊かで創造性に富む児童・生徒の育成を目指すとともに、特色ある教育・学校づくりを推進する。また、正義感や倫理観、思いやりの心などの豊かな人間性を育む「心の教育」の充実を図るとともに、障害のある児童・生徒に適切な教育が受けられるように努める。

(2) 重点事項

ア. 生き生きとした学校づくりと教育内容の充実

- ① 自ら学び自ら考える力を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある学校づくりに努める。
- ② 指導計画や指導方法の工夫により、基礎的・基本的内容の定着に努める。
- ③ 個性の伸長を図り、児童生徒の主体的な学習活動を促すよう努める。
- ④ 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を育てるため、体験的・実践的な活動を重視した道徳教育の充実に努める。
- ⑤ 家庭や地域社会の人々との協力、学校間交流や交流教育を進めるなど開かれた学校づくりに努める。
- ⑥ 障害のある児童・生徒の自立・社会参加に向け、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育支援に努める。
- ⑦ 児童生徒の危険回避能力育成のため、安全教育の充実に努める。

イ. 心身ともに健康で活力に満ちた人間の育成

- ① 豊かな情緒の涵養を図るとともに、人権尊重の精神を高め、正しい人間関係を築き上げるよう努める。
- ② 環境に対する理解を深め、環境を大切にする心の育成に努める。
- ③ 国際化社会に寄与するために、視野の広い児童・生徒の育成に努める。
- ④ 体力の向上及び心身の健康保持・増進を図り、健康・安全の態度・習慣の育成に努める。中学校においては部活動の充実に努める。
- ⑤ 学校・家庭・地域社会の連携を深め、心の通い合う生徒指導に努める。

ウ. 教職員の資質向上と指導力の充実

- ① 授業研究を奨励し、研修機会の充実に努める。
- ② 学校ぐるみの教育研究を推進し、学校間の協力・連携に努める。
- ③ 情報教育研究を奨励し、コンピュータ活用の推進に努める。
- ④ 「総合的な学習の時間」の実践研究を通して、特色ある学校づくりに努める。

2. 町立小・中学校教育目標

野々市小学校

豊かな心でたくましさのある児童を育成する。

- (1) 豊かな人間性をはぐくみ、健康や体力の増進に努め、たくましい人づくりをめざす
- (2) 基礎・基本を大切にし、一人一人の個性と創造性を伸ばす教育をめざす
- (3) 家庭や地域社会から信頼され、共に子どもを育てる開かれた学校づくりをめざす
- (4) 子ども達の教育に責任のもてる教師の育成に努め、活力ある学校づくりをめざす
- (5) 野々市町の文化や風土を生かしながら、世界に通じる人づくりをめざす
- (6) 時代の変化に対応した魅力ある学校づくりや教育システムの改善に努める

めざす児童像

「健康でやりぬく子」「心豊かな、考える子」「よりよい社会を築く子」

御園小学校

元気いっぱい やる気満々 みんな大好き

- ・自ら学ぶ授業への改善と実践に努める。
- ・よりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度の育成に努める。
- ・基本的生活習慣の育成に努める。

めざす児童像

やさしく かしこく たくましく

菅原小学校

学校教育目標

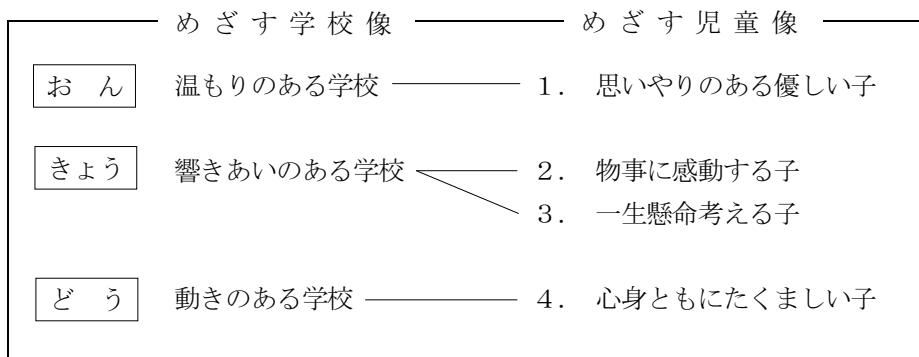
集団の規律を守り、明るく元気で、自ら学ぶ意欲を持ち、人権尊重の精神に満ちた心身共にたくましい子どもを育てる

めざす児童像

元気な子	考える子	助け合う子
・心身共に健康で明るい実践力のある児童の育成	・意欲を持って創意工夫をし積極的に学び、努力する児童の育成	・自分を律し、集団の規律を守り、お互いの存在を認め、共に尊重する心豊かな児童の育成

富陽小学校

『感性をみがき、自ら考え、実践する子』の育成



温もりのある学校

- あたたかさ、優しさ、温もりがある学校
- 一人一人の心の居場所のある学校
- お互いのよさを認め合う、思いやりの心

響きあいのある学校

- 感動⇒感性⇒創造 豊かな感性が創造する
- 自ら課題を見つけ、一生懸命考える
- 豊かな考えを響き合わせ、さらに深い考えを生む

動きのある学校

- 躍動ある子どもの声、楽しい声、美しい歌声のある学校
- 体験を通して身につける
- 心身共に健康である

館野小学校

めざす児童像

明るく	・仲よく思いやりのある子	・礼儀正しい子
正しく	・進んで学習する子	・自分で考え、自分で判断できる子
たくましく	・健康で、たくましい子	・最後までやりぬく子

1. 感性豊かな人間性を身につけ、互いの良さを認め合うことのできる精神を育てる。
2. 物事に感動し、意欲的に学ぶ習慣と心の触れ合う学習を通して、善悪を正しく判断し、責任を持つて行動できる態度を育てる。
3. 健康で、たくましい体力と強い意志を持ち、最後までやりぬく態度を育てる。

野々市町中学校

たくましく、創造的な知性と豊かな感性を備え、自己実現をめざす自立的な人間を育てる。

校 訓

- (1) 自ら学ぶ意欲をもち、創造的で、個性豊かな生徒を育成する。
- (2) 正しい判断力をもち、自律的で、実践力のある生徒を育成する。
- (3) 尊敬と信頼の心をもち、素直で心豊かな生徒を育成する。

【自 主】
【実 践】
【友 愛】

めざす生徒像

心豊かで意欲的な生徒：「気づき、考え、判断し、行動できる。」

布水中学校

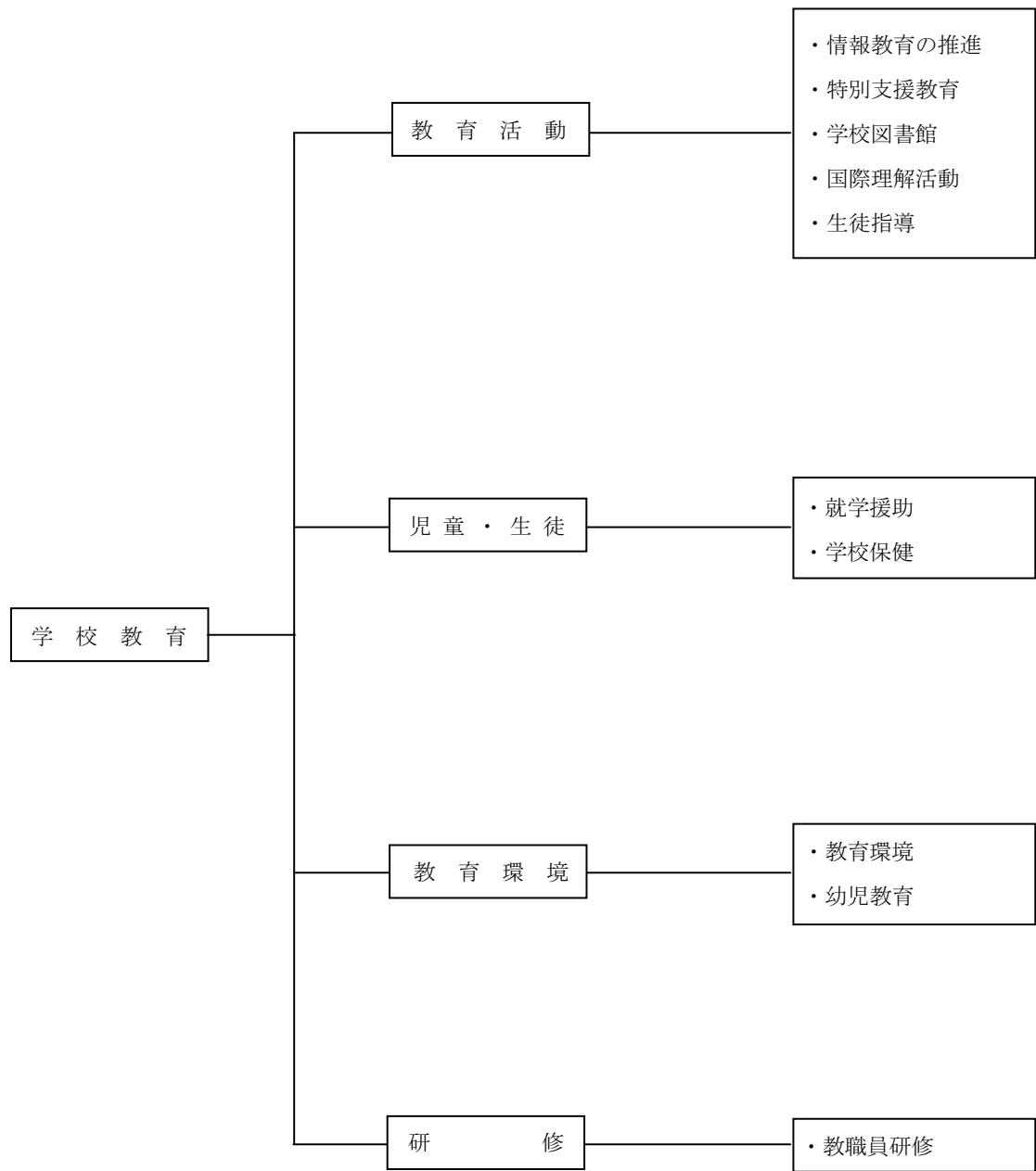
高い理想を持ち、新しい未来社会に役立つ実力を身につけた生徒の育成をめざす。

校 訓

- (1) “確かな学力と体力を身につけ、未来への創造に向かって自らを高める意欲を持つ生徒” の育成
- (2) “義務と責任をわきまえ、自立独立の気質と行動力を持つ生徒” の育成
- (3) “正義を愛し、正しい判断力をもち、厳しく自律することのできる生徒” の育成
- (4) “互いに敬愛し、信じ合い、切磋琢磨して美しい友情を温め得る生徒” の育成
- (5) “ルールを守り、環境の浄化に努め、郷土を愛する豊かな情操に満ちた生徒” の育成

向 上
独 立
自 律
友 愛
公 聽

3. 学校教育施策体系



(1) 教育活動

ア. 情報教育の推進

① 校内LANの整備

町内小中学校のすべての普通教室、特別教室にネットワークを構築し、コンピュータを設置することにより、いつでも、どこでも、コンピュータやインターネット等が活用できる環境を整備する。

平成12年度 校内LANの整備

② 教育情報ネットワーク運営

学校間のネットワーク活用を推進するため、イントラネットを構築し、教育情報の共有化を図る。

イ 特別支援教育

① 障害児学級（なかよし教室）

3歳～12歳までの児童を対象に、情緒面やことばの発達の遅れのある子どもに対して総合的な指導や訓練を行う。

2週に1回訓練を行う。

ウ. 学校図書館の充実

① 小・中学校図書館整備事業

学校図書館業務として、小中学校に図書館司書を各1名配置。また、図書購入予算の充実につとめる。

平成12年度 図書館司書配置 小学校2名 中学校1名

平成13年度 図書館司書全学校配置

平成14年度 学校長期休業期間中の司書常駐による図書館開館

平成15年度 図書館司書の配置時間の拡大、全学校図書館にエアコン設置

平成17年度 図書館司書の雇用形態の改善（臨時職員から嘱託職員）

エ. 国際理解の推進

① 国際交流事業

国際化の進む中、諸外国の人々と交流し、協力し合うことの重要性が確認される今日、次の世代を担う児童に国際的な視野をもってもらうことを目的とし、昭和60年の野々市小学校深圳小学校との友好校締結以来、隔年交互に教育友好訪問団の派遣事業を行う。

平成14年度 中国深圳小学へ教育友好訪問団を派遣 児童12名 引率他9名

平成15年度 中国深圳小学より教育友好訪問団の招致 児童12名 引率他11名

平成16年度 中国深圳小学へ教育友好訪問団の派遣 児童12名 引率他11名

平成17年度 中国深圳小学より教育友好訪問団の招致 児童12名 引率他12名

平成18年度 中国深圳小学と作品交流予定

② 国際理解教育事業

外国の生活や文化などに慣れ親しんだりするなど小学校段階にふさわしい体験的な学習を行う。

- 平成 14 年度 3・4 年生を対象として開始
- 平成 15 年度 3 年生以上 (各学級 10 時間程度)
- 平成 16 年度 3 年生以上 (各学級 8 時間程度)
- 平成 17 年度 3 年生以上 (各学級 20 時間程度)
- 平成 18 年度 3 年生以上 ()

③ 英語指導助手招致事業

外国語教育、とりわけ英語の教育は、ますます国際化が進む環境の中でその重要性が高まつており英語指導助手による生きた英語にふれ、語学力の向上を図るとともに国際化時代に対応した知識、感覚の向上を図る。

英語指導助手 1 名 (中学校 2 校に 1 ヶ月ずつ交互派遣)

才 生徒指導 (いじめ・不登校等)

① 子どもと親の相談員活用事業

生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることができる相談員を配置し、生徒が心にゆとりをもてるよう環境を提供する。

② スクールカウンセラー活用事業

いじめや不登校等児童生徒の問題行動等の対応のため、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラーを配置する。

③ 学習・生活指導員

小学校の低学年段階で基本的生活習慣や学習規律の定着を図るとともに、教科においてもきめ細やかな指導をめざす。

④ 問題行動に対する地域における行動連携推進事業研究

深刻な非行など問題行動等に適切に対応するため、学校、教育委員会、関係機関からなる「サポートチーム」を組織し、当該児童生徒を支援するなど地域における支援システムづくりを行ながら、学校復帰や立ち直りに向けた、学校外での支援の場や機能の在り方等について調査研究を行う。
(自立支援教室の設置)

⑤ 教育相談

- ・不登校児童生徒及びその傾向を示す児童生徒に対する相談活動
(電話カウンセリング、面接指導、学校・家庭訪問、適応指導教室通室等)
- ・問題行動の芽をもつ児童生徒への相談活動 (臨床心理士が対応)
- ・教職員への相談活動 (臨床心理士が対応)
- ・心の電話相談 「ふれあいダイヤル 246-7830」
- ・町少年育成センターとの連携

⑥ 適応指導教室「ふれあい教室」

不登校児童生徒、またその傾向にある児童生徒の通室指導を行い、子どもたちが心を休め、自分を見つめながら、復校できるように支援する。

- ・安心して過ごせる居場所づくり
- ・児童生徒の自己決定の重視
- ・再登校に向けての連携

(2) 児童・生徒

ア. 就学援助

経済的理由により困窮していると認められる児童・生徒の保護者に対して必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図る。

就学援助費 426名 31,585千円(平成17年度実績)

特殊教育就学奨励費 13名 849千円(平成17年度実績)

イ. 学校保健

児童生徒が健康で、健やかな生活が送れるよう各種の健康診断を実施する。

平成17年度学校保健事業

時 期	事 業	対 象	
		小学校	中学校
4月～6月	◎ 身体計測	全 員	全 員
	◎ 聴力検査	1年～5年	1年、3年
	◎ 視力検査	全 員	全 員
	◎ 寄生虫検査	1年～3年	—
	◎ 内科	全 員	全 員
	◎ 歯科検診	全 員	全 員
	◎ 耳鼻科検診	1・4年	1 年
	◎ 眼科検診	問診により必 要な者	問診により必 要な者
	◎ 結核検診(問診・検診)	全 員	全 員
	◎ 心臓検診	1 年	1 年
6月～7月	◎ 尿検査	全 員	全 員
	◎ 血液検査(貧血・コレステロール・肝機能等)	—	2年(希望者)
9月	◎ 身体計測	全 員	全 員
10月	◎ 就学児検査	就学予定者	—
	◎ 視力検査	全 員	全 員
	◎ 寄生虫検査	1年～3年	—
	◎ 身体計測	全 員	全 員

(3) 教育環境

ア. 教育環境

① 学校の施設整備

小中学校の保守管理を計画的に進め、ゆとりある施設の充実を図る。

- ・平成12～13年度 御園小学校地震補強・大規模改造工事
- ・平成12～17年度 図書室・職員室・給食室等のエアコン設置工事
- ・平成13～14年度 野々市町学校給食センター建設工事
- ・平成14～15年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第1期）
- ・平成15年度 野々市小学校耐力度調査
- ・平成16年度 菅原小学校耐震診断
- ・平成16～17年度 野々市中学校地震補強・大規模改造工事（第2期）
- ・平成17年度 布水中学校屋上防水工事
- ・平成18年度 館野小学校増築等工事
PFI導入可能性調査

② 安全管理の充実

子どもたちの安全確保のための必要な条件整備の充実を図る。

- ・来校者への対応や登下校時の安全確保
- ・学校開放時における安全対策
- ・学校、家庭、地域、関係機関と連携しながら学校の管理体制の確立

③ 学校備品の充実

豊かな教育環境の現実のため、備品・教材教具の充実につとめる。

イ. 幼児教育

① 幼児教育の充実

幼稚園教育の振興に資するため補助を行う。

私立幼稚園就園奨励費	348名	24,447千円（平成17年度実績）
私立幼稚園運営費補助金	町内2園	1園につき800千円（平成17年度実績）

(4) 研修

ア. 教職員研修

今日的教育課題に対応した研修や専門的な知識・能力をより一層身につけることにより、教員の資質や指導力の向上を図る。

- ・管理職・主任（主任）等対象研修
- ・生徒指導・児童生徒理解研修
- ・総合的な学習の時間・国際理解教育等研修
- ・パソコン実技研修

4. 教育施設

(1) 学校施設

(平成18年5月1日)

区分	施設名	設置年月日	敷地面積	建物構造規模(m ²)
小学校	野々市小学校	S 36. 4	14,784m ²	校舎 R 4階 5,571 体育館 R 1,120
	御園小学校	S 53. 4	19,937	校舎 R 4階 4,937 体育館 R 1,321
	菅原小学校	S 56. 4	18,004	校舎 R 4階 5,193 体育館 R 1,667
	富陽小学校	S 57. 4	21,757	校舎 R 3階 5,411 体育館 R 957
	館野小学校	S 59. 4	19,948	校舎 R 3階 3,952 体育館 R 1,423
中学校	野々市中学校	S 31. 4	24,016	校舎 R 4階 7,753 体育館 R 2,018
	布水中学校	S 59. 4	28,262	校舎 R 4階 6,714 体育館 R 2,583
野々市学校給食センター		H 15. 4	2,233	S 2階 1,242
教育センター		H 5. 3	546	S 2階 644

校舎面積に給食室含む



野々市小学校



御園小学校



菅原小学校



富陽小学校



館野小学校



野々市中学校



布水中学校



給食センター



教育センター

(2) 通学区域

学校名	通学区域
野々市小学校 本町5丁目3番1号 ☎ 248-0084	本町4～5丁目、若松町(22、23番)、白山町、三納、位川、太平寺1～4丁目、堀内1～4丁目、堀内5丁目(1～191、234～239、302～304、312、322、336番地)、田尻町、郷町、蓮花寺町、柳町
御園小学校 稻荷4丁目128番地 ☎ 248-3201	本町6丁目、稻荷1～4丁目、堀内5丁目(192～233、240～301、305～311、313～321、323～335、337～341番地)、三日市町、二日市1丁目、二日市町、徳用町、長池、押越1～2丁目、野代1～3丁目、御経塚1～5丁目
菅原小学校 菅原町20番1号 ☎ 246-6066	本町2～3丁目、高橋町、扇が丘、住吉町、菅原町、矢作1～4丁目
富陽小学校 中林5丁目70番地 ☎ 246-4380	上林1～5丁目、中林1～5丁目、末松1～3丁目、藤平、藤平田1～2丁目、清金1～3丁目、下林1～4丁目、新庄1～6丁目、栗田1～6丁目
館野小学校 押野3丁目71番地 ☎ 248-0622	本町1丁目、若松町(1～21、24、25番)、横宮町、押野1～7丁目
野々市中学校 字三納300番地 ☎ 246-0115	本町5丁目、扇が丘、菅原町、住吉町、白山町、三納、藤平、位川、清金1～3丁目、末松1～3丁目、太平寺1～4丁目、栗田1～6丁目、下林1～4丁目、新庄1～6丁目、藤平田1～2丁目、中林1～5丁目、上林1～5丁目、矢作1～4丁目
布水中学校 押野2丁目100番地 ☎ 248-0039	本町1～4丁目、本町6丁目、若松町、横宮町、高橋町、稻荷1～4丁目、堀内1～5丁目、田尻町、三日市町、二日市町、二日市1丁目、徳用町、郷町、蓮花寺町、柳町、長池、押野1～7丁目、押越1～2丁目、野代1～3丁目、御経塚1～5丁目

(3) 町立小・中学校別学級数・児童生徒数及び教職員数

平成18年5月1日現在学校基本調査(単位:人)

区分	学級数	児童生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
野々市小学校	16(1)	256	206	462	12	16	28	8
御園小学校	22(2)	350	288	638	11	21	32	8
菅原小学校	18(2)	227	249	476	9	17	26	7
富陽小学校	21(2)	301	298	599	11	19	30	8
館野小学校	18(3)	247	215	462	8	16	24	7
小学校計	95(10)	1,381	1,256	2,637	51	89	140	38
野々市中学校	17(2)	284	261	545	18	17	35	5
布水中学校	15(1)	257	252	509	17	16	33	3
中学校計	32(3)	541	513	1,054	35	33	68	8
合計	127(13)	1,922	1,769	3,691	86	122	208	46

() は特殊学級再掲

(4) 町立小学校数・学級数・児童生徒数及び教職員数の推移

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学校数	学級数	児童数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
13	5	83(9)	1,228	1,186	2,414	42	84	126	0	39	39
14	5	83(9)	1,230	1,169	2,399	47	82	129	0	42	42
15	5	85(9)	1,240	1,138	2,378	49	76	125	0	45	45
16	5	87(10)	1,312	1,185	2,497	51	81	132	1	44	45
17	5	92(10)	1,355	1,221	2,576	51	84	135	1	44	45
18	5	95(10)	1,381	1,256	2,637	51	89	140	0	38	38

() は特殊学級再掲

(5) 特殊学級の状況

平成18年5月1日現在（単位：人）

区分	学級名	学級数	児童生徒数	教員数
野々市小学校	知的障害	1	2	1
御園小学校	肢体不自由	1	1	1
	情緒障害	1	2	1
菅原小学校	情緒障害	1	2	1
	知的障害	1	5	1
富陽小学校	情緒障害	1	1	1
	知的障害	1	4	1
館野小学校	肢体不自由	1	1	1
	情緒障害	1	1	1
	知的障害	1	2	1
野々市中学校	情緒障害	1	1	1
	知的障害	1	4	1
布水中学校	知的障害	1	1	1

(6) 町立中学校数・学級数・生徒数及び教職員数の推移

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学校数	学級数	生徒数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
13	2	35(1)	646	612	1,258	36	30	66	2	5	7
14	2	35(2)	610	590	1,200	42	35	77	2	5	7
15	2	35(2)	586	602	1,188	43	33	76	1	9	10
16	2	34(2)	552	580	1,132	38	31	69	1	9	10
17	2	34(3)	539	549	1,088	36	33	69	1	7	8
18	2	32(3)	541	513	1,054	35	33	68	1	7	8

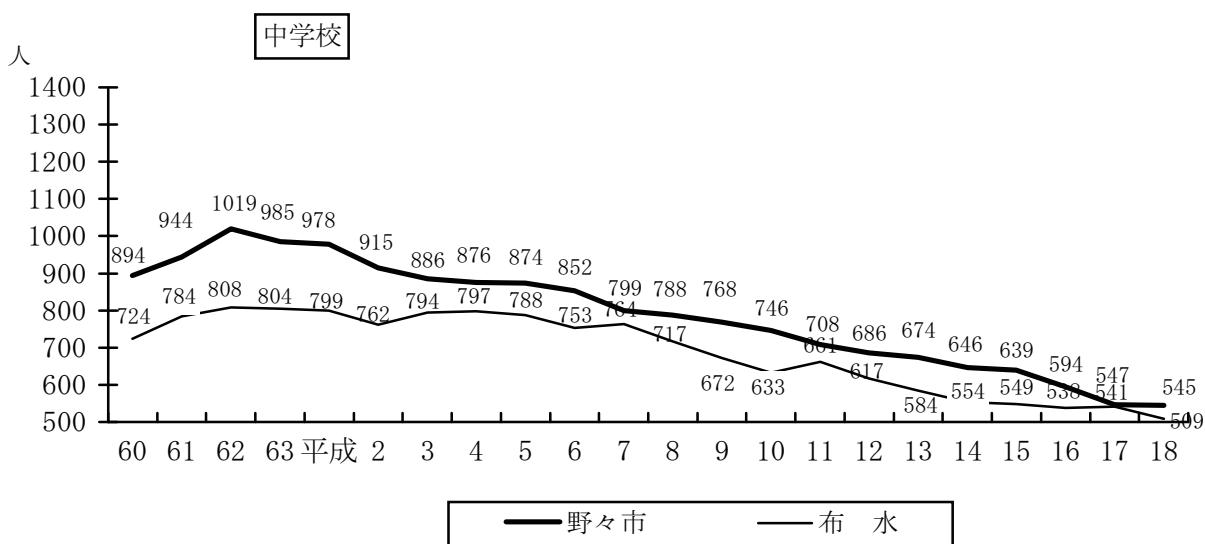
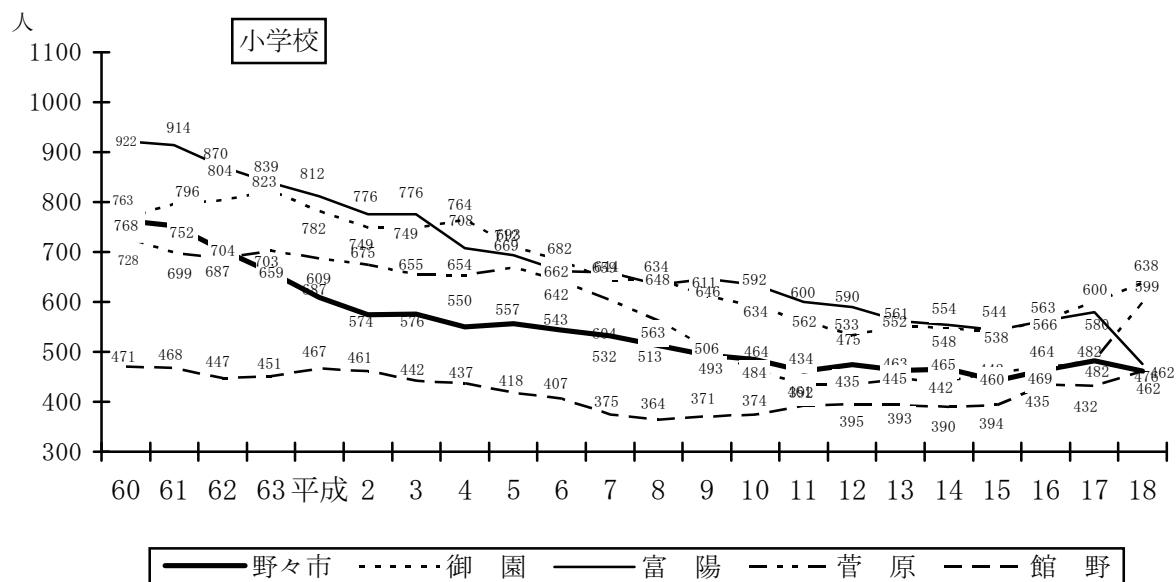
() は特殊学級再掲

(7) 中学校卒業生進路状況

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	卒業者計 (B+C+D +E+F) A	高等学校 等進学者 B	専修学校 (高等課程) 進学者 C	専修学校 (一般課程) 等入学者 D	就職者 E	無業者・ その他の F	左記B、C、Dのうち 就職している者 G	高等学校 等進学率 [B/A]	就職率 [(E+G)/A]
13	443	434	1	1	3	4			98.0 0.7
14	454	442	1		4	7			97.3 0.9
15	401	394	1		1	5			98.3 0.2
16	405	384		1	1	19			94.8 0.2
17	391	387			2	2			99.5 0.5
18	387	377		2	2	6			97.4 0.5

(8) 児童・生徒の推移 (各年5月1日現在)



(9) 私立幼稚園学級数・園児数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

施設名	年度	学級数	園児数			教員数			職員数		
			男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
扇 が 丘	13	5	55	66	121	—	8	8	1	1	2
	14	5	61	72	133	—	7	7	1	—	1
	15	5	61	59	120	—	9	9	1	—	1
	16	5	51	60	111	—	9	9	1	—	1
	17	3	43	51	94	—	7	7	1	—	1
	18	3	42	46	88	—	6	6	1	—	1
青 竜 第 二	13	10	103	100	203	1	13	14	2	—	2
	14	10	101	86	187	2	14	16	1	1	2
	15	10	93	96	189	2	14	16	1	1	2
	16	10	81	83	164	2	14	16	1	1	2
	17	10	81	84	165	3	13	16	1	1	2
	18	9	81	70	151	1	13	14	1	1	2

資料：北陸学院短大附属扇が丘幼稚園・青竜第二幼稚園

(10) 石川県立養護学校学級数・児童・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学級数	児童生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
13	24	33	27	60	27	38	65	31
14	25	32	30	62	27	40	67	35
15	25	34	27	61	22	44	66	38
16	23	27	29	56	22	40	62	37
17	23	29	31	60	19	42	61	36
18	21	30	23	53	19	39	58	35

資料：石川県立養護学校

(11) 石川県立明和養護学校学級数・児童・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	学級数	児童生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
13	59	151	65	216	49	72	121	31
14	63	154	71	225	55	74	129	32
15	71	158	85	243	53	84	137	31
16	74	176	88	264	54	91	145	31
17	69	180	86	266	45	92	137	31
18	70	181	79	260	48	86	134	31

資料：石川県立明和養護学校

(12) 石川県立野々市明倫高等学校学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
13	27	559	510	1,069	38	24	62	6
14	27	539	531	1,070	41	23	64	9
15	26	532	499	1,031	40(4)	21(1)	61(5)	9
16	25	489	503	992	38(3)	25(3)	63(6)	9
17	24	463	491	954	37(3)	22(4)	59(7)	9
18	24	440	517	957	38(5)	22(2)	60(7)	10

資料：石川県立野々市明倫高等学校

※()内は兼務教員等で、外数

(13) 石川県農業短期大学学生数及び教職員数

※平成17年度末閉校

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
13	104	144	248	38	2	40	34
14	103	154	257	38	2	40	32
15	124	141	265	38	3	41	28
16	136	117	253	38	3	41	28
17	73	51	124	37	3	40	31
18	—	—	—	—	—	—	—

資料：石川県農業短期大学

(14) 石川県農業短期大学学科別学生数

※平成17年度末閉校

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 科 名	1 年	2 年	研究生	総 数
17	総 数	—	124	—	124
	生物生産学科	—	51	—	51
	農業工学科	—	37	—	37
	食品科学科	—	36	—	36
18	総 数	—	—	—	—
	生物生産学科	—	—	—	—
	農業工学科	—	—	—	—
	食品科学科	—	—	—	—

資料：石川県農業短期大学

(15) 石川県立大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 生 数			教 員 数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
17	75	55	130	52	4	56	31
18	139	123	262	57	8	65	31

資料：石川県立大学

(16) 石川県立大学学科別学生数

各年5月1日現在（単位：人）

年度	学 部 名	学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	総 数
17	生物資源 環境学部	総 数	130	—	—	—	130
		生産科学科	44	—	—	—	44
		環境科学科	43	—	—	—	43
		食品科学科	43	—	—	—	43
18	生物資源 環境学部	総 数	134	128	—	—	262
		生産科学科	43	42	—	—	85
		環境科学科	46	43	—	—	89
		食品科学科	45	43	—	—	88

資料：石川県立大学

(17) 金沢工業高等専門学校学級数・生徒数及び教職員数

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	学級数	生徒数			教員数			職員数
		男	女	総数	男	女	総数	
13	15	637	48	685	46	9	55	4
14	15	616	43	659	44	6	50	5
15	15	623	39	662	44	7	51	5
16	15	615	42	657	44	7	51	6
17	15	594	42	636	45	6	51	6
18	15	596	43	639	45	5	50	9

資料：金沢工業高等専門学校

(18) 金沢工業高等専門学校学科別生徒数

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	学科名	1年	2年	3年	4年	5年	総数
17	総数	131	138	137	121	109	636
	電気工学科	0	2	1	78	73	154
	機械工学科	49	54	55	43	36	237
	電気情報工学科	48	47	49	—	—	144
	国際コミュニケーション情報工学科	34	35	32	—	—	101
18	総数	130	127	133	131	118	639
	電気工学科	—	—	—	1	75	76
	機械工学科	47	50	51	53	43	244
	電気情報工学科	45	45	46	48	—	184
	国際コミュニケーション情報工学科	38	32	36	29	—	135

資料：金沢工業高等専門学校

(19) 金沢工业大学学生数及び教職員数

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	学生数			教員数			職員数
	男	女	総数	男	女	総数	
13	7,438	588	8,026	243	13	256	218
14	7,272	510	7,782	245	16	261	222
15	7,005	468	7,473	262	21	283	225
16	6,840	481	7,321	281	27	308	180
17	6,800	488	7,288	293	32	325	179
18	6,798	499	7,297	296	32	328	231

資料：金沢工业大学

(20) 金沢工業大学学科別学生数

各年5月1日現在 (単位:人)

年度	学 科 名		1年	2年	3年	4年	総 数
17	総 数		2,003	1,800	1,625	1,745	7,173
	機 械 工 学 科		169	163	140	201	673
	機 械 シス テ ム 工 学 科	ボーライクス学科	116	109	203	217	645
	物 質 シス テ ム 工 学 科	バッカ化学科	103	101	54	50	308
	電 気 工 学 科	電気電子工学科	124	136	130	145	535
	電 子 工 学 科				120	145	265
	情 報 工 学 科		249	236	248	276	1,009
	人 間 情 報 工 学 科	生命情報学科	90	76	102	73	341
	経 営 情 報 工 学 科	情報マネジメント学科	80	59	101	98	338
	土 木 工 学 科	環境土木工学科	131	131	103	113	478
	建 築 学 科		155	134	128	143	560
	環 境 シス テ ム 工 学 科	環境化学科	65	66	107	93	331
	先 端 材 料 工 学 科	航空システム工学科	60	45	69	66	240
	居 住 環 境 学 科	建築都市デザイン学科	95	90	110	125	420
		情報通信工学科	93	95	—	—	188
		データ情報学科	132	113	—	—	245
		心理情報学科	73	75	—	—	148
	大 学	修 士		254	168		422
	院	博 士		10	3	10	23
	専 攻 科		4				4
18	総 数		2,047	1,983	1,443	1,812	7,285
	機 械 工 学 科		170	179	145	164	658
	機 械 シス テ ム 工 学 科	ボーライクス学科	133	128	91	222	574
	物 質 シス テ ム 工 学 科	バッカ化学科	115	108	89	61	373
	電 气 工 学 科	電気電子工学科	143	125	127	153	548
	電 子 工 学 科					140	140
	情 報 工 学 科		282	254	221	292	1,049
	人 間 情 報 工 学 科	生命情報学科	77	87	68	112	344
	経 営 情 報 工 学 科	情報マネジメント学科	69	81	50	111	311
	土 木 工 学 科	環境土木工学科	127	134	109	113	483
	建 築 学 科		156	170	112	137	575
	環 境 シス テ ム 工 学 科	環境化学科	70	72	54	112	308
	先 端 材 料 工 学 科	航空システム工学科	57	61	43	75	236
	居 住 環 境 学 科	建築都市デザイン学科	110	103	74	120	407
		情報通信工学科	111	96	86	—	293
		データ情報学科	136	132	104	—	372
		心理情報学科	80	75	66	—	221
	大 学	修 士		204	168		372
	院	博 士		4	10	4	18
	専 攻 科		3				3

資料：金沢工業大学

小学校の校名のいわれ、校旗及び校章の意味



管内小学校5校の校章、校旗は雪の結晶と麻の葉っぱを図案化したものに町章を組み合わせたものです。

雪の結晶はけがれのない素直さを表わし、麻の葉っぱは、雨に濡れればますます強くなる麻の繊維のように、何ごともくじけず最後まで頑張り抜く強い心を象徴したものです。

野々市小学校

校名のいわれは、昭和36年4月1日、野々市小学校と富奥小学校が統合する際、親しまれるように町名の野々市町をとり野々市小学校の名が付けられました。翌年には郷小学校が野々市小学校と統合しています。

校旗の色は、緑です。

御園小学校

校名のいわれは、耕地整理前的小高い丘であり、古老達はその一帯をみそのと伝え聞いてきました、その丘には大桜があり、住民の憩いの場所だったと言うことです。

みそのとは、過去に献穀田があったためと言われています。校名は、この昔から親まれてきた地名に決まりました。

校旗の色は、紺です。

菅原小学校

校名のいわれは、昭和39年に野々市町本町の一部からできた菅原町に建設したため、一般に親しまれている地名から校名が決まりました。

菅原の地名は、平安時代に加賀權守に任せられた菅原道真公が、神を祈って加賀へ下向せられる折り、野々市町のこの地を通過したとされることに由来しています。

校旗の色は、赤です。

富陽小学校

校名のいわれは、歴史古き富樫郷の南に位置し、四季に富む里に子どもたちが豊かな希望をもち、健やかに学び、太陽の子のように明るくたくましく育つことを願い、この名が付けられました。

校旗の色は、黄色です。

館野小学校

校名のいわれは、野々市町は、中世における加賀文化の発祥地として隆盛をとげた、加賀国の守護・富樫一族の館があったとされ、本校の運動場に隣接する土地も古くからタチナカと呼ばれ、富樫家善の館があったと伝えられています。

富樫氏の人徳と残された幾多の輝かしい文化をしのび、このゆかりある地で、児童が伸び伸びと健やかに学び育つことを願いタチナカの「館」と野々市の「野」を合わせ館野と名付けられました。

校旗の色は、紫です。

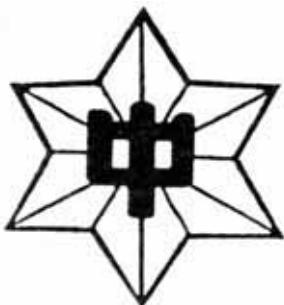
中学校の校名のいわれ、校旗及び校章の意味

野々市中学校

校名のいわれは、町村合併により昭和31年3月31日、石川県石川郡野々市町立野々市中学校と石川県石川郡富奥村立富奥中学校が廃校となり昭和31年4月1日より、新たに石川県石川郡野々市町立野々市中学校が設置されました。

当時、町に一校の中学校であったため、町名をそのままとって野々市中学校と名付けられました。

さらに翌年には、旧石川郡押野村の御経塚・野代・押越・押野丸木が野々市町へ編入しました。



校旗はスクールカラーの茄紺色で染め抜いてあり、校章は麻の葉を図案化したものです。

野々市町は古くは麻の栽培も盛んな所でした。麻は非常に成長が速く、強い纖維で水を含むと更に強度を増します。又、これで織った布は高貴な感じがします。

このような麻の特性から、本校の生徒が麻のように「誰からも好かれ」、「大きく、強く」成長して「上品さと誇り」を持ち、苦境に立ったとき更に「勇気ある人間」になることを町の皆が願ってその葉を図案化しました。

布水中学校

校名のいわれは、布は布市の「布」であり、布は白く汚れなく人々を優しくつつみ、また校舎の横を流れる木呂川は靈峰白山の水を受け清くさらさらとさわやかに流れ、時として急流と化すたくましさがあります。

ここに学ぶ生徒は、白妙のごとく汚れなく優しく人をいたわり、清流のごとく清らかで、また激流にも耐える心と体を培い、学び、励むことを願い校名が付けられました。



校旗はスクールカラーの、水色に近い青色と白色を組み合わせました。

校章は布水中学校の水の文字を図案化したもので、左右対象で縦長なのは向上を表現しています。

襟章は、青は若い力を、白は誠実、赤は友愛を表現しています。

VI. 生涯学習

1. 基本方針及び重点事項

(1) 基本方針

「まちづくりは人づくりから」を基本理念に、生涯にわたる学習活動を振興するための環境づくりに努め、併せて、青少年の豊かな心を育み、人権を尊重した地域社会の形成と家庭教育力の向上をめざす。

(2) 重点事項

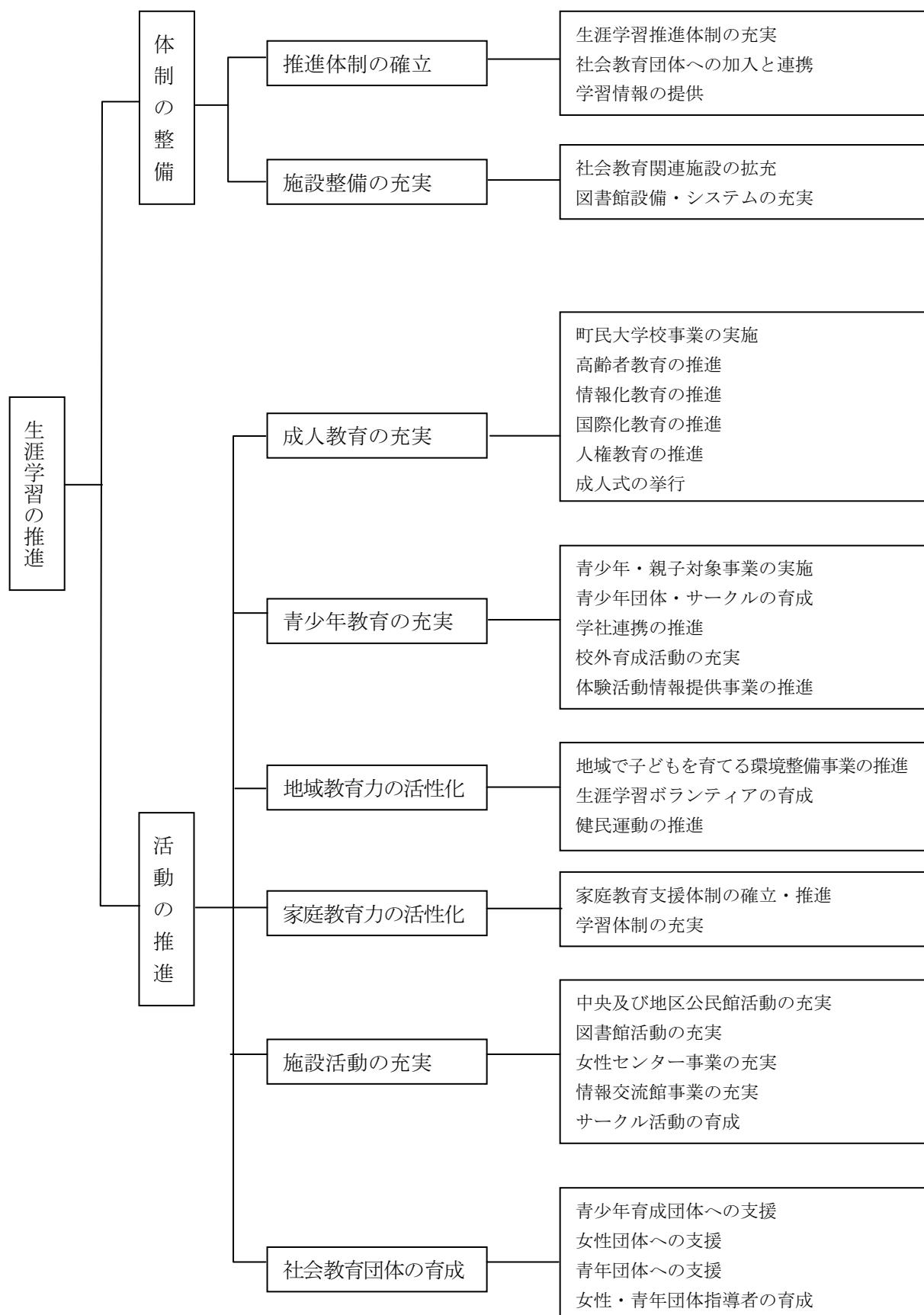
ア. ふれあいと活力に満ちた生涯学習社会の構築を図る。

- ① 教育ユニバーサルプランの実現を目指して、生涯学習推進体制の充実に努める。
- ② 大学と連携した事業の充実と、町民参画による生涯学習まちづくり活動の発展に努める。
- ③ 地域文化の発信と町民のふるさと意識の向上を図るため、「ののいち学」の確立に努め、町民の学習と交流の場を充実する。
- ④ 学習の成果を生かす生涯学習社会の構築を図るため、生涯学習ボランティアの育成に努める。
- ⑤ 人権と男女共同参画の理念に基づく事業の展開を図り、一人ひとりが輝く共生と協働の地域社会づくりに努める。
- ⑥ 施設環境の整備と施設職員の資質の向上を図り、コミュニティと生涯学習活動の核となる施設運営に努める。
- ⑦ 情報化社会に対応した学習情報の提供と学習機会の充実を図るため、情報交流館事業の効果的な運営に努める。
- ⑧ 町民の教育・文化の向上を図るため、図書館活動の充実に努める。

イ. 子どもたちの豊かな心を育む地域・家庭教育力の活性化を図る。

- ① 情報化社会に対応した健全な社会秩序の形成をめざし、地域団体の連携を強め、青少年の健全育成活動と社会環境浄化活動の推進に努める。
- ② 家庭教育力の向上を図るため、支援体制の確立と啓発活動に努める。
- ③ 学校と地域社会の協力体制を確立し、子どもの居場所づくり事業の充実に努める。
- ④ 子どもを地域全体で育む気運を高め、伝統芸能継承活動や文化・芸術・科学活動の充実に努める。
- ⑤ 地域社会の教育力を高めるため、育成団体の指導と支援に努める。

2. 生涯学習施策体系



(1) 体制の整備

ア. 推進体制の確立

① 生涯学習推進体制の充実

- ・教育ユニバーサルプランの実現に向けた体制づくり
- ・生涯学習推進協議会、生涯学習推進連絡会議の開催
- ・社会教育委員会議の開催

② 各種社会教育団体への加入と連携

- ・国… 全国生涯学習市町村協議会
- ・県… 県社会教育委員連絡協議会、金沢大学社会教育研究振興会、県少年補導センター連絡協議会、県視聴覚教育協議会、県公民館振興市町村連盟

③ 学習情報の提供

- ・「生涯学習情報」の町広報紙掲載（年3回、7・10・1月）
- ・「公民館サークル情報」の発行（年1回、5月）
- ・町広報紙、町ホームページ、町地域ポータルサイト、FMエヌワン等の活用

イ. 施設の充実

① 社会教育関連施設の整備

- ・施設の効率的な修繕
- ・新図書館建設に向けた調査研究

② 社会教育関連施設の運用の工夫

- ・公共施設予約案内システムの運用
- ・情報交流館「カメリア」の活用

(2) 活動の推進

ア. 成人教育の充実

① ののいち町民大学校事業の実施

- ・コミュニティ・カレッジの開設

目的	内容	企画委員会	場所
町内等の大学による講座を開設し、住民の学習機会の拡大と自主運営を図る。	金沢工業大学、石川県立大学、放送大学石川学習センター、金沢大学の協力によって、20講座程度開講	公募者等 10名程度	中央公民館外

- ・インターネット町民塾の開設 ((財)情報文化振興財団へ委託)

目的	内容	運営委員会	ボランティア
インターネットを用いた野々市町民のための生涯学習の場として、個々の教養、ITスキルの向上及び住民間のコミュニケーションの促進を図る。	インターネットを活用した在宅学習とネット講座の開設 ・学習者としての参画 ・講師としての参画 ・ボランティアとしての参画	野々市町及び金沢工業大学より各3名	カメリアパルが教材製作支援 随時募集
特別講座	内 容	実施回数等	場 所
安全安心のまちづくり「野々市町の安全安心のまちづくりをみんなで考える」	「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)として、学生と地域住民が一体となってまちづくりを考える機会として実施	講義、フィールドワーク等6回程度	中央公民館 カメリア外

- ・マイ・タウン塾

目的	内容	実施回数等	場所
生涯学習への参加意欲が高まる中、共に学び合い、コミュニティ活動に生かすため、町内会と連携をとりながら実施する。	町民が学習に参加しやすいように地区・町内会を巡回して出前講座を実施	1町内会につき1回 (計10回)	各町内会集会所等

- ・ののいち町民大学校公開講座

本事業を広く町民に公開し、学習機会の充実と学習意欲の喚起を図る。

事業	内 容	実施回数等	場 所
ののいち学講座	ののいち学の基礎となる郷土史家等による野々市町に関する学習	年10回	中央公民館外
放送大学石川学習センター開放講座	放送大学の人的資源を地域に開放する一般向け教養講座。年3回開催	年3回	文化会館外

② 情報化教育の推進

- ・情報交流館事業パソコン講座外により実施

③ 成人式の挙行

目的	日 時	内 容	場 所
新成人の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを願う。	1月7日(日) 午後2時から	式典 交流会	文化会館



コミュニティ・カレッジ



成人式实行委員会

イ. 青少年教育の充実

—「青少年対策機構図」は別途資料参照—

① 青少年対象事業の実施

子どもたちが遊びのおもしろさや手づくりの温かさ、自然の雄大さを体験し、年齢や学校を越えた仲間づくりを進める。

事業名	対象	定員・参加者数	内容	場所
まなびの教室 (毎月第2土曜日)	小学生	80人	料理・水彩画・絵本・ものづくりの4教室	地区公民館
とびだせ！アウトドアKIDS	小学3年～中学1年生	86人	ののいち自然教室(年3回、日帰り) ののいち夏休み自然探検(年1回、1泊2日)	白山麓 妙高周辺
まちの先生とつくる夏休み体験	小学生	215人	手作り教室、体験教室など10教室	地区公民館など
立志式	中学2年生	350人	12月4日に開催、講演会の開催	文化会館
青少年海外派遣事業	中・高校生		石川少年の翼・青年の翼への参加補助	大韓民国、中国、ロシア

② 親子対象事業の実施

心の教育事業として、親子が共同体験できる事業を実施し、家庭や地域の教育力の充実を図る。

事業名	内容	場所
親子音楽会	企画委員による企画・運営を図る。年3回程度実施予定	町内公共施設
野々市じょんから踊り講習会	6月22日から延べ5日間開催	地区公民館 文化会館

③ 青少年団体・サークルの育成

学校外活動の充実を図るために、定期的に活動する文化・芸術サークルや団体の育成を推進する。

- ・中央公民館事業 … フォルテ児童合唱団
- ・ボランティア団体…ボランティア探検隊「飛鳥」、ジュニアリーダー会「響」
- ・文化芸術サークル…野々市和太鼓教室「ののっこ太鼓 小嵐」、ののいちエコサークル「あおぞら」
富陽小陶芸サークル、じょんから KIDS、ジュニア絵画サークル「パル」

④ 校外育成活動の充実

町少年育成センターと“ののいちっ子を育てる”町民会議を中心となって、官民一体となった育成活動を展開する。

	組織	主な事業
少年育成センター	運営協議会の開催(年3回) 委員13人、会長：絹川博 育成指導員74人	街頭巡視活動、非行防止 S&S ネット懇話会、万引き対策、コンビニ協議会、非行相談活動など
“ののいちっ子を育てる”町民会議	常任委員会(年4回)、全体会議(年1回)の開催 構成58団体、常任委員25人 会長：藤 力	愛と和のひと声運動、町ぐるみ美化清掃、県内一斉グッドマナーキャンペーン、社会環境浄化活動、携帯電話対策事業、啓発活動など

⑤ 体験活動情報提供事業の推進

- ・情報交流館こどもセンターを拠点に、体験情報の収集と発信



夏休み自然探検



「愛と和」のひと声運動



携帯電話対策事業

ウ. 地域教育力の活性化

① 学校教育施設活用事業の推進

事 業 名	目 的	内 容
ふれあいルーム事業	地域との交流の場となるふれあいルームを学校内に設置し、地域住民の学習成果や特技を生かした児童との交流を推進する。	野々市小、富陽小、御園小、館野小に設置 各運営委員会に委託

② 放課後・週末における子どもの居場所作りの推進

放課後や週末におけるスポーツや文化活動などの体験活動や、地域住民との交流活動を実施する。

事 業 名	校 区
野々市小学校放課後ふれ愛ルーム	野々市小学校
青少年センター放課後子ども教室	菅原小学校
館野小学校放課後子ども教室	館野小学校
こどもセンター放課後子ども教室	全町
こどもセンターチャレンジ教室	全町

③ 生涯学習ボランティアの育成

事 業 名	目 的	内 容
まちの先生登録・活用事業	子どもたちの体験活動を充実させるため「まちの先生」を募集・登録し、学社連携を強化しながらその活用を図る。	募集・登録・公開・紹介事業 公民館活用事業 学校活用事業 学社連携活用事業 自主事業
生涯学習まちづくりボランティア活動支援事業	生涯学習施設や学校での地域住民のボランティア活動を支援するため、保険加入や学習機会の提供を図る。	学校支援・生涯学習ボランティアの募集と活動の場の提供 ボランティア保険の加入

⑤ 健民運動の推進

町民一人ひとりが健やかな心と体をつくり、地域の連帯を高めながら、緑豊かな住みよい郷土を築いていくために、「愛と和の町民憲章」の実践活動を展開する。

運動の類型 ……文化、体育、緑化、青少年



御園小学校 ふれあいルームの活動



まちの先生とくる夏休み体験

エ. 家庭教育力の活性化

① 家庭教育支援体制の確立

- ・地域の実態に応じた家庭教育事業の総合的な推進を図るため、家庭教育推進協議会を設置する。
委員…15名
- ・家庭教育サポーターの募集及び養成
子育て経験者や家庭教育に関する専門知識やカウンセリングに関する知識、技能の習得および資質の向上を図り、家庭教育サポーターを養成する。

② 学習体制の整備

幼児から中学生までの保護者への学習機会を積極的に提供する。

事 業 名	対 象	参加予定人数	回数	内 容
家庭教育学級 (全小中学校 PTA)	PTA 会員、一般 町民	1校当たり 延べ 100 人程度	1校当たり 2~3回	町 PTA 連合会に委託 親子の望ましい関係の確立をめざす。
幼児家庭教育講座 (全保育園)	幼児を持つ親	1回当たり 50人程度	1園当たり 各1回	幼児期の家庭教育の重要性を学ぶ。
就学時子育て講座 (全小学校)	就学前の児童の 保護者	1回当たり 100人前後	5回	就学時健康診断の機会を利用して、多くの保護者に学習機会を提供する。
思春期子育て講座 (全中学校)	中学校入学前の 生徒の保護者	1回当たり 150人前後	2回	中学校入学説明会の場を利用して、多くの保護者に学習機会を提供する。
子どもと地域安全を 考えるフォーラム（仮 称）	保育園から中学 生までの子ども を持つ父親、一 般町民	150人程度	1回	父親を中心に、子どもにとって安全な地域づくりについて学ぶ機会を提供する。
非行・被害防止講座	PTA会員、一 般町民	1校当たり 70人程度	1校当たり 1回	町 P T A 連合会に委託 家庭における非行並びに被害防止の学習機会を提供する。

オ. 施設活動の推進

① 中央公民館事業（活動）の充実

・ののいちマナビフェスタ 2006 の開催

目的	内 容	期 間	会 場
生涯学習と地域文化の発展を願い、広く学習と活動の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、文化の香り高いまちづくりを目指す。	作品展示、舞台発表、活動発表、講演会、模擬店、イベント等	10月28日 (土)から 11月5日 (日)	中央公民館 文化会館 郷土資料館 カメリア

・高齢者教育の推進

事業名	対象	参加者数	内 容
野々市寿大学校	55歳以上	42人	5月から月2回程度。 教養・健康づくり・歴史などの講座を実施
野々市寿大学院	寿大学校の卒業生	137人	コーラス・ちぎり絵・俳句・園芸・囲碁・書の6コースを実施 院生による自主活動

・自主サークル活動の充実

寿大学院同窓会活動への支援…心寿会、四寿会

・国際化教育の推進

② 地区公民館活動の充実

地域住民が心身ともにさわやかで明るい活力に満ちた生活が築けるように、住民相互の親睦を深めながら、個々の教養の向上、健康の増進に寄与できる公民館活動を行う。

・主な地区公民館事業

◎ 野々市公民館

生涯学習のテーマ：地域と連帯

期 日	事 業 名
5月10日	視察研修会
5月24日	健康教室
6月25日	グラウンドゴルフ大会
7月上旬	ふるさと学習
10月1日	本町地区運動会
10月下旬	健康料理教室
11月中旬	キンボール大会
1月下旬	文化教養講座
2月下旬	子育て中ママのための手芸教室

◎ 富奥公民館

生涯学習のテーマ：文化と教養

期 日	事 業 名
5月20日	視察研修会
5月28日	グラウンドゴルフ大会
7月22日	虫送り大会
10月1日	富奥地区運動会
10月中旬	親子研修
11月26日	ボウリング大会
3月	健康講座



本町地区運動会



富奥虫送り大会

◎ 郷 公民館

生涯学習のテーマ：自然と環境

期 日	事 業 名
4月 26日	高齢者生きがい教室
6月 4日	花いっぱい運動
7月 16日	グラウンドゴルフ大会
9月中旬	健康・体力づくり教室
10月 1日	郷地区運動会
10月下旬	高齢者生きがい教室
11月 12日	視察研修会
11月 19日	室内軽スポーツ大会
12月中旬	郷土料理教室
2月中旬	時局講演会
2月下旬	ボウリング大会

◎ 押野公民館

生涯学習のテーマ：健康と安全

期 日	事 業 名
5月 20日	ふるさと料理教室
6月 18日	視察研修会
7月 16日	グラウンドゴルフ大会
10月 1日	押野地区運動会
11月 19日	キンボール大会
12月中旬	フラワーアレンジメント講習
2月 4日	新春麻雀大会
2月上旬	わら工作の会
2月 18日	ボウリング大会
3月上旬	生き生きゼミナール



グラウンドゴルフ大会



ふるさと料理教室

③ 図書館活動の充実

・事業内容

事 業 項 目	事 業 概 要
資料の収集・提供	電算システムのよりよい活用を図り、資料を選択、収集、整理保存し、またインターネットによる蔵書検索サービスを行う。
積極的な情報提供	図書館の資料を活用し、的確なレファレンス・サービスを行う。また利用者及び、町内外各位への積極的な情報提供を行う。
サービスの地域格差の是正	移動図書館車の運行と団体貸出、配本所を充実する。
郷土理解の情報提供	町民の郷土理解のため情報の収集と提供につとめる。講演を開催し、町内外の歴史や文学について学習する機会を提供する。
児童へのサービス	乳児も含め、児童にすぐれた出版物をふれさせ、読書のすばらしさを知るきっかけを与える。
各種団体の育成	読書の生活化、習慣化に寄与するため読書普及として、読書会活動の推進、グループの育成を図る。 0歳児健診で、メッセージを添えて絵本を手渡し、読み聞かせの大切さを伝えるブックスタートボランティアの活用、育成を図る。
学校図書館の支援	学校図書館司書との連携を図り、活動の支援につとめる。
新図書館建設への準備	新図書館の建設を目指し、検討委員会を立ち上げ、研究・討議を進める。

・主な活動計画

事業名	対象	人数	実践活動の内容	実施場所
おはなし会 (月2回)	幼児 小学生	延べ180人	お話や絵本の読み聞かせ、紙芝居など	町立図書館
移動図書館車	町民	延べ1,000人	約2,000冊の図書を積載、町内20ヶ所に月1回運行し貸出を行う 《町会》あやめ団地、あすなろ団地、菅原団地、新庄1丁目、新庄3丁目、太平寺、藤平田2丁目、栗田、上林、徳用、長池、柳町、清金、稻荷、二日市町 《施設》職業能力開発校、セルプはくさん、百々鶴荘、椿荘、金沢南ケアハウス	
文学講座 (全3回)	一般	延べ100人	テーマ「日本の文学・歴史を探る」講演	中央公民館
ブックスタート (月2回)	乳児 保護者	延べ 1,200人	メッセージを添えて絵本を手渡し、読み聞かせの大切さを伝える。	保健センター



文学講座



ブックスタート

④ 情報交流館事業

事業名	事業内容
パソコン講座	一般初心者及び中級者を対象に9コースを開講する。 (一般初心者向け) パソコン入門 IT基礎、初級ワード、初級エクセル (一般中級者向け) ワード中級、エクセル中級、デジカメ・画像、ホームページ、パワーポイント、ビデオ編集
パソコン・ITなんでも相談窓口	インターネット、文書作成や表計算などの主要パソコン・ソフト、音響・映像分野の情報処理などについての相談に応じ、問題解決を支援する。
インターネット町民塾	インターネットを活用した住民参加型の学びのコミュニティづくりをねらいとして、講師、ITボランティア、カメリア・パルの会の協力のもとで、インターネットでの講座開設やスクーリングなどを、町と金沢工業大学が共同実施している。(受託事業)
野々市こどもセンター	子どもの自然体験や親子のふれあいの場に関する情報の提供や、モノづくり、他の各種体験プログラムを実施する。
カメリア サロンコンサート	交流サロンを会場にして、公募による小中学生を演奏者として、グラウンド・ピアノの演奏などの町民の幅広い音楽活動を、地域の人々が共に楽しむ手づくりのコンサートを実施する。
クリスマスキャンドルサービス	クリスマスの時期に、「ふれあい」や「自然や環境の保全」などの大切にしたいメッセージを交換し合って、親子で楽しいひとときを過ごす室内プログラムを実施する。

カメリア・パル育成事業	17年度に創設された「カメリア・パルの会」に対する活動支援と、同会をはじめとする市民団体との協働の取り組みを推進する。
子どもビデオ創作教室	カメリアの設備を利用して、ビデオの構想づくり、撮影、編集、作品の仕上げまでを、小中学生に実際に体験させる。 (文部科学省委託事業)
カメリアビデオコンテスト	「わが町のくらしと風景」をテーマに、町民が撮影や作品制作を通じて地域の生活や文化を見つめなおし、野々市町の魅力を発信することを目指して開催する。
すみたいまち、魅力あるまちづくりを考える 絵画と写真コンクール	小中学生絵画コンクール「こんなまちにすみたいな - 野々市の理想像」と写真コンクール「野々市町の魅力と美しさ」及び作品展を実施する。 (日本建築学会、町、町教委との共催)



インターネット町民塾



パソコン・ITなんでも相談

⑤ 女性センター事業の充実

女性の日常生活に必要な援助を与え、その福祉の増進を図るための事業を推進する。

・主な事業

講座名	事 業 名	回数	期 日
教養講座	「ちぎり絵」	1	5月 25日
	「インディオの民族手芸“モラ”」	4	6月 21日～7月 12日
	「かしこい消費者講座」	1	8月 25日
	「グラスアート」	1	11月
	「ペーパークラフト」	1	12月
	「ネイルケア、ネイルアート」	1	2月
生活講座	「らくらく整体」	①4 ②4	①6月 24日～7月 15日 ②11月 1日～ 22日
	「料理教室」	1	9月 28日
	「大根寿しの作り方」	2	12月
職業講座	「ペン習字」	4	9月～10月

⑥ サークル活動の推進

生涯学習施設において自主学習サークル、グループの登録要綱等を整備し、町民の自発的な学習と仲間づくりを支援する。

・サークル、グループ登録状況(平成18年5月現在)

施設名	登録数
野々市公民館	34団体
富奥公民館	13団体
郷公民館	12団体

施設名	登録数
押野公民館	12団体
女性センター	18団体
青少年センター	1団体

計 90団体

カ. 社会教育団体の育成

① 補助団体一覧

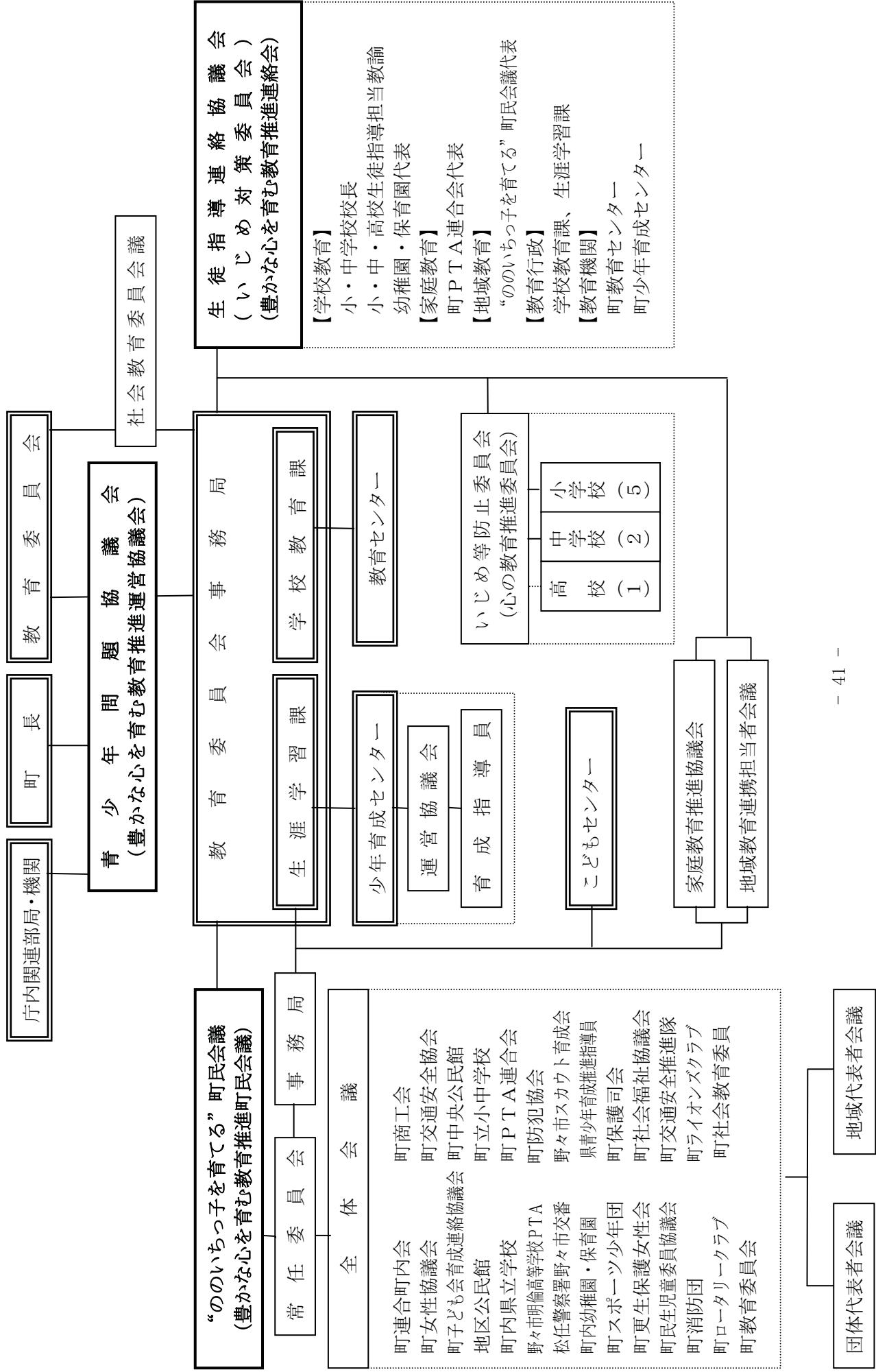
部門	団体名	代表者	設立年	構成員数(人)	下部団体
育成団体	子ども会育成連絡協議会	竹本 忠利	昭和42年	3,014	57
	PTA連合会	北川 千里	昭和38年	3,176	7
	野々市スカウト育成会	安田 彦三	昭和44年	126	5
女性団体	女性協議会	藤多 典子	昭和52年	1,000	
	生活学校	進村 五月	昭和46年	22	
	エルネットワーク	藤村 恵子	平成14年	993	6
青年団体	青年ボランティア団体 RISE	玉川 裕子	平成14年	10	
公民館団体	公民館連合会	魚野 孝次郎	平成17年	11	

② 青年団体指導者の育成

- ・青年ボランティアリーダー県外研修への補助

青少年対策機構図（豊かな心を育む教育推進機構図）

野々市町



3. 生涯学習施設

(1) 施設の概要

名 称	位 置	電話番号	延床面積(m ²)	施 設 内 容	開館年月
中央公民館	本町2丁目1-20	248-0521	2,763.19	ホール・舞台、会議室(6)、研修室(2)、学習室(2)、調理実習室、視聴覚室、和室(2)	
野々市公民館	中央公民館に併設				
富奥公民館	中林5丁目3	248-0829	2,001.14	会議室(2)、集会室、研修室、和室(2)、調理実習室	
郷 公民館	字田尻町94	248-0250	820.40	集会室、談話室、学習室(2)、和室(2)、調理実習室	
押野公民館	押野3丁目70	248-2839	709.58	集会室(2)、学習室、研修室、調理実習室、和室(2)	
青少年センター	住吉町17-10	246-0250	315.07	会議室、調理実習室、研修室(2)	S54. 5
女性センター	稻荷4丁目155	246-0810	629.39	相談室、軽運動室、講習室(2)、調理実習室	S58. 2
町立図書館	本町2丁目14-6	248-8099	788.81	閲覧室、学校図書館支援室(ボランティア活動室)、学習室	S59. 4
情報交流館 「カメリア」	字三納18街区1	227-6200	2,798.00	ホール、研修室(4)、キッズコーナー、インターネットコーナー、メディア工房、メディアスタジオ、サテライトスタジオ	H17. 1

(2) 施設利用の仕方

名 称	開館時間	休 館 日	使用申し込み方法等
中央公民館 野々市公民館 富奥公民館 郷公民館 押野公民館	午前9時～ 午後10時	月曜日、祝日、 年末年始	① 使用する日の3ヶ月前から7日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し、各公民館へ申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前9時から午後5時まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
青少年センター	午前9時～ 午後10時	月曜日、祝日、 年末年始	① 使用する3日前迄に使用許可申請書により申し込む。 ② 使用料は、許可を受け次第前納する。
女性センター	午前9時～ 午後10時	月曜日、祝日、 年末年始	① 使用する3ヶ月前から7日前迄に使用許可申請書に必要事項を記入し申し込む。 ② 電話、口頭、手紙等による申込みは受付できません。 ③ 受付時間は、午前9時から午後5時まで。(休館日を除く) ④ 使用料は、許可を受け次第前納する。
町立図書館	火～金曜日 午前10時～ 午後7時 土・日曜日 午前10時～ 午後5時	月曜日、祝日、 年末年始	① 貸出は一人5冊まで ② 期間は2週間
情報交流館 「カメリア」	午前9時～ 午後10時	毎月第2・4 水曜日(水曜 日が祝日の 時は、その翌 日)、年末年 始	①連続使用は、10日間まで。 ②使用する日の3か月前の月の初日から使用日の3日前までに、許可申請書及び誓約書により申し込む。 ③使用日3日前までに、必要な事項の打合せを行なう。 ④使用料は、許可を受け次第前納する。

(3) 施設利用状況（平成17年度）

名称	利用件数(件)	利用者数(人)
中央公民館(野々市公民館)	2, 944	54, 814
富奥公民館	946	18, 844
郷 公民館	695	9, 564
押野公民館	772	11, 697
青少年センター	269	4, 982
町民研修センター(平成17年度で廃止。)	—	—
女性センター	1, 036	9, 323
情報交流館「カメリア」	1, 535	53, 531

町立図書館 (移動図書館、配 本書の利用含 む)	登録人数 (人)		貸出利用者数 (人)		貸出冊数 (冊)		蔵書冊数 (冊)
	10, 284		23, 403		78, 707		64, 638
	小中学生	1, 505	小中学生	3, 107	小中学生	9, 926	
	一般	8, 779	一般	20, 296	一般	68, 781	

(4) 町立図書館分類別蔵書構成（平成18年3月末現在）

		平成17年度購入冊数(冊)	蔵書数(冊)	構成比(%)
総 冊 数		3, 236	64, 638	100. 0
館 外		—	43, 146	33. 2
館 内		—	21, 492	66. 8
内 訳	0 総 記	32	1, 346	2. 1
	1 哲 学	78	1, 519	2. 4
	2 歴 史	171	4, 100	6. 3
	3 社会科学	269	3, 900	6. 0
	4 自然科学	136	1, 752	2. 7
	5 技 術	202	2, 536	3. 9
	6 産 業	86	951	1. 5
	7 芸 能	136	2, 798	4. 3
	8 言 語	37	564	0. 9
	9 文 学	903	20, 699	32. 0
	児 童 図 書	1, 130	19, 922	30. 8
	郷 土 資 料	56	4, 551	7. 0

館 外：移動図書館、配本所、館外の書庫の分

館 内：本館の分（書庫も含む）

VII. 文化

1. 基本方針及び重点目標と努力事項

(1) 基本方針

文化活動を通じて、町民一人ひとりの創造性と個性を育み文化の享受を図るとともに、地域の歴史・文化への親しみを深める環境整備に努めることによって、郷土を愛する心豊かな人間性の育成をめざす。

(2) 重点事項

ア. 歴史的資源を活用した魅力あるまちづくりの推進

- ① 町史編纂事業の推進。
- ② 富樫館跡など歴史的資源の活用を図る。
- ③ 特別展や体験教室、出張講座等をとおして郷土愛を醸成する。
- ④ 自主的な文化財ボランティアの育成を図る。

イ. 文化財の保護・活用

- ① 各種文化財の調査、収集、研究を推進する。
- ② ふるさと歴史館や史跡公園など関係施設の整備・充実を図る。
- ③ 保存資料をデジタル化し、文化財データベースの活用を図る。
- ④ 郷土芸能の伝承活動団体に対する育成と支援に務める。

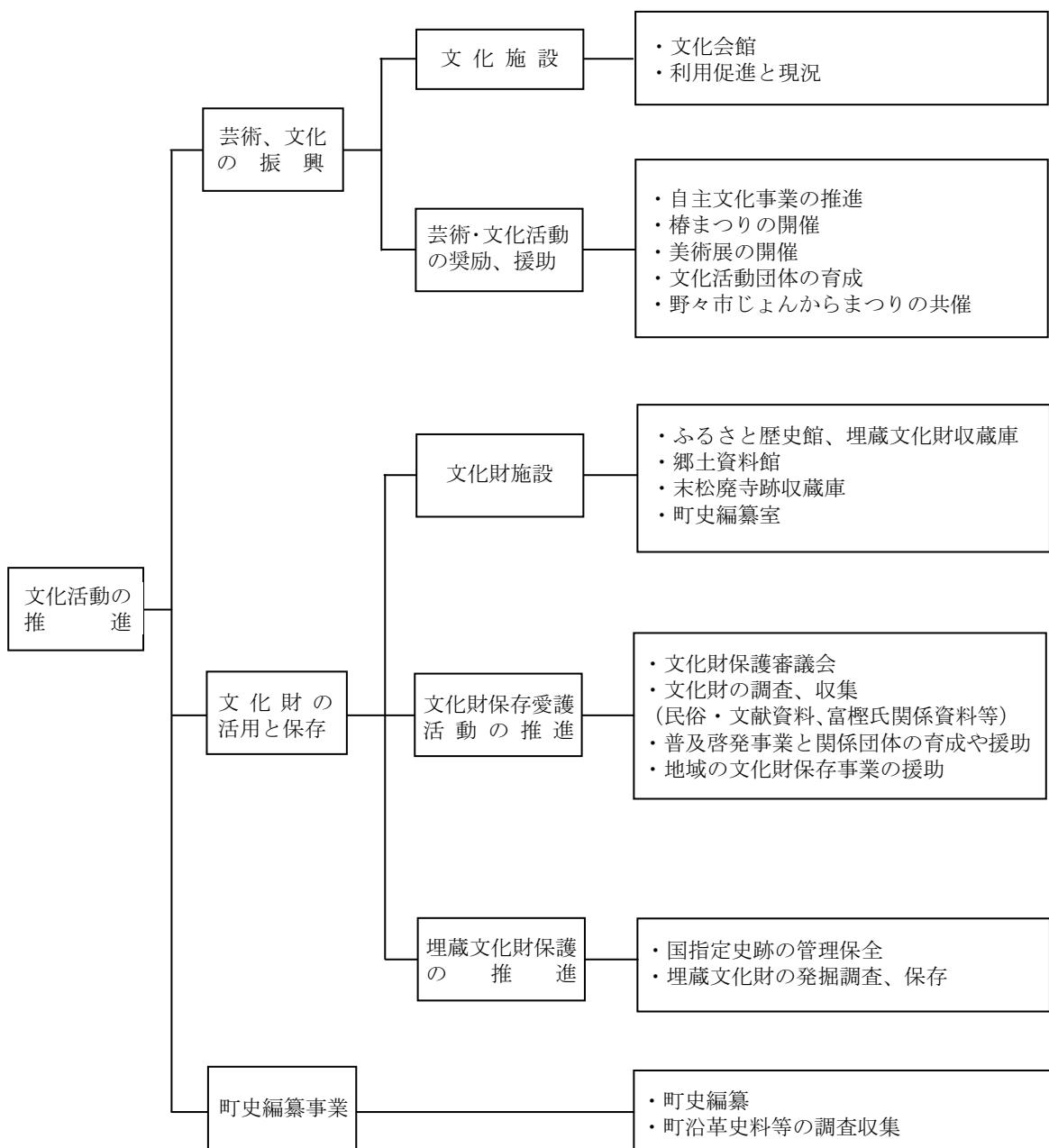
ウ. 文化活動を通した学習機会の提供

- ① 優れた文化や舞台芸術の鑑賞の機会拡充に務める。
- ② 魅力ある美術展、じょんからまつり、椿まつりの開催に務める。
- ③ 文化協会の指導育成に努め、町民の自主文化活動の推進に努める。

エ. 文化会館の整備

- ① 効率的な整備に務める。

2. 文化施策体系



(1) 芸術文化の振興

ア. 文化事業の推進

① 花と緑のいち椿まつり 2007

目的 愛と和の町民憲章に謳われている「郷土を愛し緑ゆたかな住みよい町づくり」を推進するため、町花木に指定されている「椿」を介して各種行事を開催し、文化的な潤いのある地域環境の創出に寄与する。

開催日 平成19年3月17日（土）18日（日） 午前9時～午後5時

場所 野々市町文化会館フォルテ・教育センター・郷土資料館

内容

- ・アート・オブ・ツバキ（椿を題材とした作品展示）
生け花・盆栽・鉢植え・切り花・日本画・洋画・書・写真・工芸・
公開文学講演会・俳句・短歌・ジュニア椿絵画等
- ・椿オリジナルステージ（民謡・ダンス・軽音楽・コーラスなど、お楽しみ抽選会）
- ・花と緑の市（椿苗・盆栽・花苗・園芸資材等の即売）
- ・特産物市（町特産品等の即売）
- ・お茶席（抹茶・煎茶）
- ・つばき食堂（各種飲食ほか）
- ・囲碁・将棋大会（自由対局・大会）
- ・イベントアラカルト

② 野々市町美術展

市民の美術文化活動の振興とその鑑賞の機会を設ける。

期日	内容	場所
7月7日～7月17日	町民公募（日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・ジュニア）	野々市町情報交流館

③ 芸術鑑賞教育

1) 児童・生徒オーケストラ鑑賞教室

オーケストラアンサンブル金沢

6月6日（火） 14:00～

野々市・布水中学校（1年交代）全生徒

2) スクールシアター

劇団うりんこ「星のまつり」

6月23日（金） 13:30～

町立5小学校5年生全員

④ 文化活動団体の育成
文化協会加盟団体

	団 体 名	代表者	設立年	会員数
芸 術 文 化 團 體	富 樫 卿 奉 賛 会	安 田 彦 三	S 3 9 年	1 9 2 名
	郷 土 研 究 会	一	4 6 年	1 6 名
	文 化 协 会 (1 6 团 体)	内 村 栄 一	6 1 年	1 , 2 0 5 名
	① 野々市じょんから節保存会	久 保 昇	3 5 年	6 0 名
	② 菊 花 协 会	南 憲 志	3 6 年	3 0 名
	③ 椿 愛 好 会	宮 崎 昭 男	4 9 年	6 1 名
	④ 美 術 文 化 协 会	北 清 志	5 2 年	7 7 名
	⑤ 音 楽 文 化 协 会	朝 倉 喜 裕	5 2 年	2 5 0 名
	⑥ 華 道 协 会	若 島 翠 節	5 3 年	9 4 名
	⑦ 盆 栽 愛 好 会	星 場 外 也	5 4 年	3 0 名
	⑧ 囲 暮 协 会	西 永 正 雄	5 7 年	1 3 0 名
	⑨ 将 棋 协 会	飴 谷 久 太 郎	5 8 年	1 1 0 名
	⑩ 読 書 会 連 絡 協 議 会	魚 住 慧 子	6 1 年	2 8 名
	⑪ 社 交 ダ ン ス 愛 好 会	山 谷 光 輝	6 1 年	4 3 名
	⑫ 民 謡 协 会	山 口 正 昭	H 元 年	9 0 名
	⑬ 俳 句 协 会	奥 村 誠 一 路	3 年	4 1 名
	⑭ 茶 道 协 会	安 田 光 男	5 年	9 2 名
	⑮ 短 歌 协 会	香 城 清 子	7 年	2 1 名
	⑯ 能 楽 愛 好 会	富 田 孝	1 5 年	4 8 名

文化団体への支援体制

補助金	野々市町文化協会補助	1,760,000 円
	現代美術展補助	100,000 円
	アマチュア美術展補助	5,000 円
委託料	椿まつり開催委託金	3,800,000 円

イ. 文化施設

- ① 文化会館（指定管理者：（財）野々市町情報文化振興財団）

名 称	住 所	電話番号	開館年月	延床面積
野々市町文化会館	本町 5 丁目 4-1	248-8000	S 63.5	5,638 m ²

● 施設概要

1 階 <

- | | |
|--------------------|---|
| ・大ホール | ※音楽、舞踊、演劇、講習、集会、映画など多目的に利用できます。 |
| 収容人数 | 832人（椅子席804席、親子席18席、車椅子スペース10席分） |
| 椅子席 | 1階 固定席 682席（うち難聴者用32席） |
| 2階 固定席 | 122席 |
| 舞　　台 | プロセニアム（間口18、高さ8、スノコまでの高さ17.9） |
| センターステージ（巾6.6、奥行7） | |
| 樂　　屋 | 第1（洋）269人用、第2（洋）297人用、第3（洋）3915人用 |
| リハーサル室 | 126 |
| ・ふれあいホール | カーペットタイル敷き 326 |
| | ※ステージの多分割機構及び吊下式移動パネルにより、多彩な空間構成が可能です。大ホールに準じた利用・展示会・レセプション等にも利用できます。 |
| 収容人数 | 移動椅子 300人 |
| 舞台機能 | 組立式ステージ
(巾7、奥行12、天井高5.3、ステージ高0.3・0.6) |
| 展示機能 | 吊下式パネル（大10枚、小2枚） |
| パンtries | 18m ² ※パーティーなどの準備室として利用できます。 |
| ・ミーティングルーム | 57m ² 収容定員 25人 |
| ・ふるさと展示コーナー | 52m ² ※町の歴史・文化・産業などを紹介するコーナーです。 |
| ・喫茶室 | 46m ² |
| 2階> | |
| ・メディアルーム | 56 収容定員 20人 |
| ・カルチャールーム | 121 収容定員 48人 |
| ・セミナールーム | 60 収容定員 25人 |
| ・カンファレンスルーム | 36 収容定員 12人 |
| ・和　　室 | 18畳2間 |
| ・茶　　室 | 6畳と3畳（内露地有り） |
| 駐車場> | |
| ・駐車可能台数 | 350台 |

● 利用案内

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 毎月第1・3水曜日（その日が祝日にあたる日は翌日）
年末・年始、その他特別の事由により臨時休館することがある。
- ・使用申込み方法 ① 使用する日の1年前の日に属する月の初日から使用する日の前3日まで
使用許可申請書に必要事項を記入し申し込む。
② 催し物を円滑に行うため、会館が指定する日に施設の使用方法など必要なことについて、係と事前打合せを行う。
(催し物のプログラム、入場券進行スケジュールなどの提出が必要)
③ 使用料は、使用許可書の交付と同時に前納する。

● 利用促進と現況

大ホール

(件)

使 用 内 訳	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
演 剧	26	20	15	11	14	22
音 楽	36	32	37	22	19	27
映 画	4	6	3	2	5	6
式典・大会・研修・講演	41	37	37	27	49	35
芸能・舞踊・バレエ	13	8	8	17	17	3
そ の 他	8	16	0	6	3	11
準備・リハーサル	74	74	85	83	107	101
計	202	193	185	168	211	205

小ホール

(件)

使 用 内 訳	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
ピアノ発表・音楽コンサート	53	59	46	34	34	34
式典・大会・研修・講演	114	89	107	75	91	117
展覧会・展示販売	31	21	21	27	55	21
パーティ・レセプション	13	24	15	18	17	10
演劇・民謡・舞踊・映画	6	5	3	7	4	4
準備・リハーサル・その他	58	41	43	48	62	75
計	275	239	235	209	263	261

② 文化会館事業

月	日	曜日	事 業 名	出 演 者 等
6	19	月	ぬいぐるみミュージカル「長靴をはいた猫」	劇団 銀河鉄道
11	25・26	土・日	JAZZ (big apple in Nonoichi2006)	ニューヨークのジャズミュージション とムーンライトJAZZ オーケストラほか

(2) 文化財の活用と保存

ア. 文化財施設

① ふるさと歴史館・埋蔵文化財収蔵庫

概要 縄文時代後～晩期の大集落跡である御経塚遺跡をはじめ、弥生時代～中世の出土品や富樫氏関係資料・近世文献資料の展示。また文化財資料の整理・収蔵。

区分	ふるさと歴史館	埋蔵文化財収蔵庫	計
敷地面積	1,131.39 m ²	509.02 m ²	1,640.41 m ²
建築面積	344.18 m ²	180.00 m ²	524.18 m ²
延床面積	822.30 m ²	302.00 m ²	1,124.30 m ²
構造	鉄筋コンクリート2階・地下1階	鉄筋コンクリート2階	

所在地 野々市町御経塚1丁目182番地

観覧時間 午前10時～午後4時

休館日 毎週月曜日、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始

② 郷土資料館

概要 町指定文化財「旧魚住家住宅」と展示棟で、農具及び明治～昭和初期の生活道具を展示。旧魚住家住宅は安政年間に建てられた農村の商家で、表構えは町屋、間取りと構造は農家となる複合構造である。天井の梁や一尺角の檼主柱、式台の厚板、囲炉裏などは、近世の民家の姿をよく伝えている。その規模は、間口7間（12.6m）、奥行14間（25.2m）である。

面積 敷地面積964.76 m²、建築面積408.58 m²（旧魚住家住宅280.85 m²・展示棟127.71 m²）
延床面積611.08 m²（旧魚住家住宅335.63 m²・展示棟203.45 m²・土蔵72 m²）

構造 旧魚住家住宅 木造瓦葺平屋（一部中2階）・展示棟 鉄骨造2階

移築年月日 平成7年3月1日

所在地 野々市町本町3丁目19番24号

展示時間 午前10時～午後6時

休館日 毎週月曜日、祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始



ふるさと歴史館



郷土資料館

③ 末松廃寺跡収蔵庫

概 要 白鳳期（7世紀後半）の創建とされる末松廃寺跡から出土した遺物の収蔵。
鉄筋コンクリート造り平屋建、建築面積 153.98 m²、総床面積 129.73 m²。
所 在 地 野々市町末松2丁目（史跡末松廃寺跡）地内

④ 町史編纂室

概 要 町史編纂業務の調査資料及び町沿革史料を保存。
建物は、鉄筋コンクリート造り平屋建ち（一部2階あり）
敷地面積 1,119.63 m² 建築面積 256.00 m²、総床面積 325.60 m²。
所 在 地 野々市町白山町8番15号

イ. 文化財保存愛護活動の推進

① 文化財保護審議会

町内の文化財の保存および活用に関する事項を調査審議

② 文化財の保存・調査・収集

- 民具、農具、生活用具等の収集
- 天然記念物、建造物、伝承の調査
- 郷土芸能の伝承と保存
- 体験記録、昔話の収集
- 古文書等文献資料の調査収集
- 富樫氏関係事業
富樫氏関係資料の収集
全国に分布する富樫一族の調査



普及啓発事業（土器作り）

③ 普及啓発事業と関係団体の育成や援助

- 郷土資料館事業
「野々市町の昔を語る会」の開催（4月～11月の毎月第3土曜日開催）
- 普及啓発事業
古代体験学習（土器作り・勾玉作りなど）、文化財関係企画展示の実施
- 関係団体の育成・援助
富樫卿奉賛会・野々市の昔を語る会・野々市郷土研究会

④ 地域の文化財保存事業の援助

郷土芸能伝承（獅子舞・虫送り・野菜みこし・じょんから踊り）

ウ. 埋蔵文化財保護事業の推進

① 国指定史跡の管理・保全

史跡末松廃寺跡、史跡御経塚遺跡



史跡末松廃寺跡



史跡御経塚遺跡

② 埋蔵文化財の発掘調査、保存

事 業 名	遺 跡 名	遺 跡 概 要	調査面積
北西部土地区画整理事業関係 発掘調査・出土品整理事業	三日市A遺跡 徳用クヤダ遺跡 二日市イシバチ遺跡	弥生・古代・中世集落跡	12,530 m ²
中南部土地区画整理事業関係 出土品整理事業	粟田遺跡ほか	弥生・古代・中世集落跡	
出土品整理事業	三納トヘイダゴシ遺跡 末松廃寺跡	縄文・古代・中世	
民間開発関係緊急発掘調査 出土品整理事業	富樫館跡	中世	
デジタル資料館資料作成事業	御経塚遺跡	縄文	



中南部発掘調査（粟田遺跡・平成17年）



北西部発掘調査（三日市A遺跡・平成17年）

エ. 指定文化財一覧表

① 国指定文化財

種別	指定別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
建造物	重要文化財	喜多家住宅	2棟	野々市町本町3丁目8-11	喜多直次	昭46.12.28
史 跡	記念物	末松廃寺跡		〃 末松2丁目地内	野々市町	昭14.9.7
〃	〃	御経塚遺跡		〃 御経塚1丁目549	〃	昭52.3.7

② 町指定文化財

種別	指定別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
絵画	有形文化財	馬の図(富樫政親筆)	1幅	野々市町扇が丘7-1	金沢工業大学	昭45.3.10
書跡	〃	顕尊上人消息	1通	〃 本町3丁目13-20	照台寺	昭42.2.11
〃	〃	前田利長書状	1通	〃 本町3丁目8-11	喜多直次	昭45.3.10
〃	〃	前田利常書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	宿送人足傳馬之書	1通	〃 本町5丁目4-1	野々市町	〃
〃	〃	村御印(野々市村)	1通	〃	〃	〃
〃	〃	〃(上林村)	1通	〃 上林3丁目124	小林喜一	昭53.3.12
〃	〃	〃(下林村)	1通	〃 下林4丁目153	下林町内会	〃
〃	〃	〃(末松村)	1通	〃 末松1丁目56	古源一栄	〃
〃	〃	宣如上人消息	1通	〃 本町3丁目11-14	水毛生貫一	昭61.4.22
〃	〃	村御印(二日市村)	1通	〃 本町5丁目4-1	野々市町	〃
〃	〃	〃(長池村)	1通	〃 字長池29	長井博	〃
〃	〃	〃(藤平田新村)	1通	〃 藤平128	進村栄信	〃
考古	〃	御物石器	1点	〃 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	昭45.3.10
芸能	民俗文化財	野々市じょんから節		〃 本町2丁目1-20	野々市じょんから節保存会	昭42.2.11
史跡	記念物	住吉の宮		〃 本町2丁目(布市神社)	布市神社	〃
〃	〃	徹通和茶毘の墓		〃 太平寺3丁目26	石尾壽万	〃
〃	〃	富樫館跡		〃 本町2丁目地内	野々市町	昭45.3.10
〃	〃	農事社跡		〃 住吉町地内	〃	〃
天然記念物	〃	大公孫樹		〃 本町2丁目(布市神社)	布市神社	昭42.2.11
〃	〃	上林の大椎		〃 上林3丁目71(林郷八幡神社)	林郷八幡神社	昭53.3.12
典籍	有形文化財	光松山八幡宮縁起 (巻子本)	3巻	〃 御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	平2.5.29
〃	〃	光松山八幡宮縁起 (冊子本)	3冊	〃	〃	〃
書跡	〃	徳用村肝煎仕平願書	1通	〃	〃	〃
〃	〃	金谷御殿御用方赤井 喜内・山崎遐福翁覚	1通	〃	〃	〃
〃	〃	元十村役瀬尾孫三 手代建部次吉請書	1通	〃	〃	〃

種別	指定別	名 称	数量	所在地住所	管理者	指定年月日
書 跡	有形文化財	建部次吉通知状	1通	野々市町御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	野々市町	平2.5.29
〃	〃	里正棟取瀬尾孫三願書	1通	〃	〃	〃
〃	〃	瀬尾孫三書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	元御住居御用弁方書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	建部次吉書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	氏神社神社号願	1通	〃	〃	〃
〃	〃	前田家家扶代多田一書状	1通	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神四文字ノ由来記	1通	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神の神額	1幅	〃	〃	〃
〃	〃	亀 の 字	1幅	〃	〃	〃
〃	〃	野草幽号各自香	1幅	〃	〃	〃
歴史資料	〃	鳥 居	1基	〃字徳用町501番地	光松八幡神社	〃
〃	〃	三 社 の 題 額	1面	〃	〃	〃
〃	〃	八幡大神の神号額	1面	〃御経塚1丁目128 ふるさと歴史館	野々市町	〃
絵 画	〃	猿 の 絵	1幅	〃	〃	〃
〃	〃	扇 面	1幅	〃	〃	〃
〃	〃	宝 の 玉 の 図	1幅	〃	〃	〃
彫 刻	〃	木 造 狛 犬	1対	〃字徳用町501番地	光松八幡神社	〃
建造物	〃	旧 魚 住 家 住 宅 (現郷土資料館)	1棟	〃本町3丁目19-24	野々市町	平5.2.16
〃	〃	水 毛 生 家 住 宅	3棟	〃本町3丁目11-14	水毛生貫一	平8.1.25
工芸品	〃	脇差(銘信長)	1振	〃本町3丁目1-1	布市神社	平8.3.1
歴史資料	〃	木 造 庫 子	1基	〃字三納191	日下日吉神社	平9.6.25
〃	〃	石 造 山 王 権 現 神 像	1軀	〃	〃	〃
史 跡	記念物	経 塚	1基	〃御経塚2丁目335	野々市町	平12.5.26
	有形文化財	附 石像傳大土像	1軀	〃御経塚1丁目182 ふるさと歴史館	〃	〃
書 跡	〃	野 代 村 御 印	1通	〃野代2丁目97	西川和昭	平14.7.4
歴史資料	〃	古 源 家 文 書	414 点	〃末松1丁目56	古源一榮	〃

(3) 野々市町史編纂事業

ア. 目的

- ① 先史時代から現在までの野々市町のあゆみを平明に記述し、広く一般に当町の歴史を理解するための資料を提供する。
- ② 歴史的事実を明らかにする貴重な史料について採訪集録し、その内容を明示して広く一般の利用に資する。
- ③ 全般を通じて、町に対する町民の深い愛郷心を養い、当町の発展のための指針に資する。

イ. 編纂の基本方針

① 調査及び編纂期間

平成 10 年 4 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日までの 8 年間

- ② 冊数 全 7 冊 [資料編 5 冊、通史編 1 冊、図説 1 冊]
- ③ 仕様 B5 版 [資料編各 500 頁、通史編 800 頁(カラー版)、図説 200 頁(カラー版)]
- ④ 町史の規模及び刊行計画

	年度	調査等	部門	仕様	頁数	部数	発刊月日
1	10年度	史料調査					
2	11年度	〃					
3	12年度	〃	資料編 2 (近世)	B5 版	500	1,000	13年 3 月
4	13年度	〃	資料編 3 (近代・現代)	〃	〃	〃	14年 3 月
5	14年度	〃	資料編 1 (考古・古代・中世)	〃	〃	〃	15年 3 月
6	15年度	〃	集落編	〃	〃	〃	16年 3 月
7	16年度	〃	図説「野々市の歴史」	〃	200	2500	17年 3 月
8	17年度	〃	民俗編	〃	400	1,000	18年 3 月
9	18年度	〃	通史編 (原始古代～現代)	〃	800	〃	18年 10 月

ウ. 平成 18 年度事業計画

- ① 専門委員会の開催及び史料調査収集
 - ◇ 部会長連絡会 ◇ 各専門部会(考古、古代・中世、近世、近代、現代、民俗、集落)
 - ◇ 部会長連絡会及び各専門部会等で検討し、調査収集作業を行う。
- ② 通史編 刊行 (規格 B5 版 800 頁 カラー版)

エ. 町沿革史料収集

行政資料を中心とし、野々市町の沿革に関する史料を収集・整理する。

VII. スポーツ振興

1 基本方針及び重点事項

(1) 基本方針

生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用を図ることにより、町民（老若男女）すべてが参加し、楽しめるスポーツ活動を推進し、一人一人が健康で豊かな生活を営み、かつ積極的に活動あふれる地域社会を構築する。

(2) 重点事項

ア. 明るく豊かな生活を支える生涯スポーツの推進を図る。

- ① 町民の健康増進を推進するため、各種スポーツ教室の充実を図る。
- ② さわやかスポーツフェスティバル等を通じて、ニューススポーツ・レクリエーションの奨励普及と「スポーツガイド」「えふえむ・エヌ・ワン」等を活用した広報活動の強化を図る。
- ③ 体育指導委員の活動強化と資質の向上に努める。

イ. 競技スポーツの振興を図る。

- ① 石川県民体育大会上位入賞に向けた取り組み強化を図る。
- ② なぎなた競技団体の育成に努める。

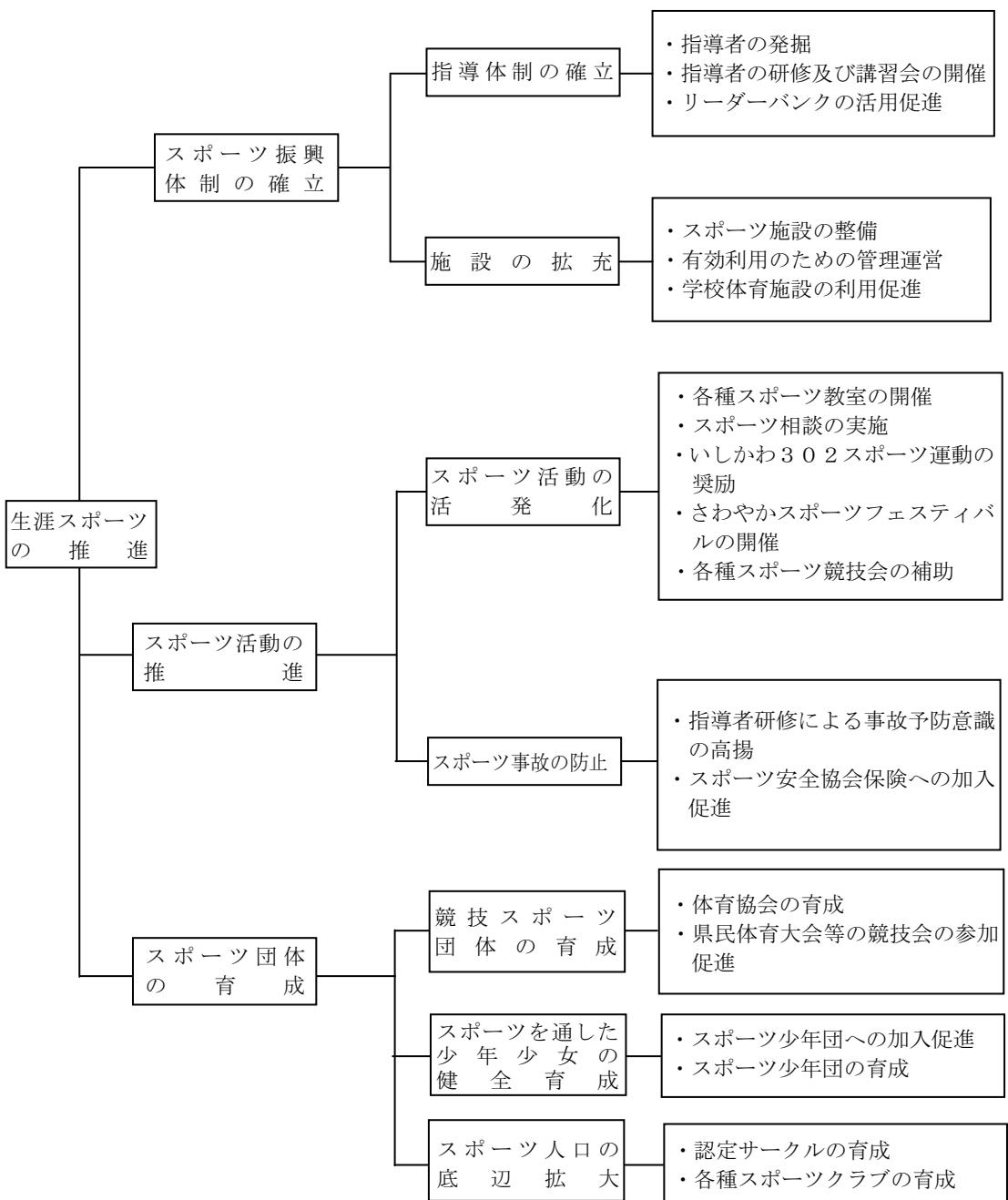
ウ. スポーツ関係団体の育成によるスポーツ活動の推進を図る。

- ① スポーツクラブの育成、体力づくりに努める。
- ② 体育協会、スポーツ少年団の育成と自主運営に向けた取り組みを推進する。
- ③ レクリエーション協会の活動を支援する。
- ④ エアロビック競技の普及と発展に努める。

エ. スポーツ施設の設備・充実を図る。

- ① 既存施設の計画的な整備・充実を図る。
- ② 指定管理者による既存施設の管理運営に対する適切な指導。

2. スポーツ振興施策体系



(1) スポーツ振興体制の確立

ア. スポーツ振興審議会
・審議会の開催

イ. 体育指導委員の活用
・体育指導委員の各種事業、大会への派遣

ウ. 指導者講習会・研修会の開催
・ニューススポーツ講習会等
・スポーツおもしろゼミナール

エ. スポーツ施設の整備
・町民体育館及び町民野球場下水道接続工事
・スポーツランドテニスコート改修工事

オ. 体育施設の管理運営
・(財) 野々市町公共施設管理事業団による施設管理の拡充

カ. 学校体育施設の利用促進
・学校体育施設開放運営委員会の開催
・学校体育施設開放指導者連絡会の開催



チャレンジヨガ



うんどう教室

(2) スポーツ活動の推進

ア. 生涯スポーツ活動推進事業

・少年少女スポーツ
・一般スポーツ
・高齢者スポーツ



各種スポーツ教室の開催

イ. 野外活動

・ファミリーミステリーバスハイキング 4月16日(日)



ファミリーミステリー
バスハイキング

ウ. スポーツ情報の提供

・スポーツガイドの発行
・スポーツ教室募集チラシの発行
・Let'sニューススポーツ（体育指導委員広報）の発行
・町広報による大会案内
・えふえむ・エヌ・ワン「マイタウンののいち」での行事案内

エ. 体育大会の開催

- ・第10回野々市町小学生相撲大会
5月20日 町相撲場
- ・さわやかスポーツフェスティバル2006
6月4日、11日 町民体育館、町中央公園運動広場他
- ・第25回野々市じょんからの里マラソン大会
10月22日 町内マラソンコース



小学生相撲大会

オ. 全国スポーツ大会等出場選手への助成

- ・激励費等の支給

カ. 顕彰

- | | |
|------------|-------------------------------|
| ・県 関 係 | 県生涯スポーツ功労者表彰
県生涯スポーツ優良団体表彰 |
| ・県体育協会関係 | 県体育協会功労者 |
| ・町 関 係 | スポーツ功労表彰 |
| ・町教育委員会関係 | 教育功労表彰
教育振興表彰 |
| ・町体育協会関係 | 体育功労賞
スポーツ賞 |
| ・スポーツ少年団関係 | 功労者表彰
優秀クラブ表彰 |



さわやかウォーク

キ. スポーツ事故の防止

- ・救急法講習会の開催（2回コース）
- ・各種スポーツ団体へのスポーツ安全協会保険加入促進



じょんからの里マラソン大会

(3)スポーツ団体の育成

ア. 体育協会27団体（さわやかスポーツフェスティバルへの積極参加及び各種大会参加に向けた競技力の向上並びにスポーツの普及）

- ・第58回石川県民体育大会 夏季大会
8月5日(土)・6日(日) 中能登町、七尾市主会場
- ・第59回石川県民体育大会 冬季大会
平成19年2月24日(土)・25(日) 開催予定
白山白峰温泉スキー場 主会場
- ・競技強化委員会による競技力の向上
- ・町民を対象としたスポーツ教室の開催
テニス、弓道、トランポリン、グラウンド・ゴルフ、太極拳 など



石川県民体育大会

イ. スポーツ少年団17クラブ（少年少女の健全育成、スポーツ人口の底辺拡大）

- ・指導者・保護者研修会

6月22日（木） 町文化会館

- ・清掃奉仕活動

8月中旬 町内体育施設

- ・体力テスト会

11月26日（日） 町民体育館

- ・リーダー研修会

1月中旬 白山青年の家

- ・総合交歓会

2月25日（日） 町民体育館

ウ. 各種団体

- ・スポーツ連盟クラブ 3団体

- ・認定サークル

一般スポーツクラブ 40団体

高齢者スポーツクラブ 2団体

エ. スポーツ団体一覧

① 体育協会加盟団体

	協会名	代表者名	加盟年月
1	野々市町バレーボール協会	長谷川 歩	昭和49年10月
2	野々市町剣道協会	内山利明	昭和48年8月
3	野々市町陸上競技協会	目名進	昭和48年4月
4	野々市町卓球協会	松田秀明	昭和50年10月
5	野々市町弓道協会	本多郁夫	昭和49年12月
6	野々市町ソフトボール協会	西本浩二	昭和50年4月
7	野々市町クレー射撃協会	島崎晃次	昭和50年4月
8	野々市町ボウリング協会	山崎茂	昭和50年6月
9	野々市町野球協会	西村一義	昭和52年4月
10	野々市町バスケットボール協会	中村義彦	昭和52年10月
11	野々市町テニス協会	美谷悦朗	昭和55年4月
12	野々市町バドミントン協会	橋爪晃	昭和55年3月
13	野々市町スキーアクセス協会	中山巖	昭和55年11月
14	野々市町ソフトテニス協会	橋里志	昭和57年1月
15	野々市町空手道協会	大鋸鐵	昭和57年4月
16	野々市町相撲連盟	田中昭一	昭和57年7月
17	野々市町トランポリン協会	村井壮夫	昭和58年6月
18	野々市町サッカー協会	高谷進二郎	昭和59年4月
19	野々市町水泳協会	栗貴章	昭和59年4月
20	野々市町ゲートボール協会	塚本稔	昭和59年4月
21	野々市町柔道協会	川合長尋	昭和61年3月
22	野々市町山岳協会	山岸伊佐男	平成元年4月
23	野々市町グラウンドゴルフ協会	林正半	平成4年4月
24	野々市町ゴルフ協会	鎌田勝巳	平成4年4月
25	野々市町太極拳協会	高野晃	平成14年1月
26	野々市町ラグビーフットボール協会	水口政尚	平成15年4月
27	野々市町パークゴルフ協会	新森晃	平成17年2月

② スポーツ少年団加盟団体

No.	団 体	発足年度	No.	団 体	発足年度
1	剣道スポーツ少年団	昭和48年	10	菅原学童野球クラブ	昭和57年
2	柔道スポーツ少年団	昭和54年	11	菅原少年サッカークラブ	昭和58年
3	少年少女トランポリンクラブ	昭和56年	12	菅原ミニバスケットボールクラブ	昭和59年
4	野々市ジュニアバドミントンクラブ	昭和61年	13	富陽学童野球クラブ	昭和63年
5	野々市学童野球クラブ	昭和56年	14	富陽サッカークラブ	昭和62年
6	野々市ジュニアサッカークラブ	平成2年	15	野々市ジュニアバレーボールクラブ	昭和61年
7	野々市ミニバスケットボールクラブ	平成2年	16	館野学童野球クラブ	昭和59年
8	御園学童野球クラブ	昭和55年	17	館野ミニバスケットボールクラブ	昭和59年
9	御園ミニバスケットボールクラブ	昭和56年			

③ スポーツ連盟

● ソフトボール連盟 10チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
住吉クラブ	一般	プレイボーイ	一般
ジョッキーズ	〃	ピングクパンサー	〃
花の木クラブ	〃	北川ヒューテック	〃
センチュリー21	〃	野々市ホワイトクラブ	〃
栗田ソフトボールクラブ	〃	オクタカダッチャンズ	〃

● 壮年ソフトボールクラブ 8チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
あやめ壮年クラブ	一般壮年男子	新庄壮年ソフトボールクラブ	一般壮年男子
栗田壮年クラブ	〃	稲荷壮年ソフトクラブ	〃
太平寺壮年クラブ	〃	エレファント	〃
のらくろクラブ	〃	位川ソフトボールクラブ	〃

● 早朝日曜野球連盟 8チーム

クラブ名	対 象	クラブ名	対 象
ツイスター	一般	W	B
M N O	〃	野々市町役場	〃
八松苑ブルーサンダース	〃	石さん	〃
栗田クラブ	〃		
野々市スパローズ	〃		

④ 町内スポーツクラブ・サークル

《女性対象》(19クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動日時	活動場所
レディース野々市	軽スポーツ	竹田 優子	毎週火曜日 10:00 - 12:00	市民体育館
野々市卓球クラブ	卓球	宮岸 外喜子	毎週火曜日 10:00 - 12:00	市民体育館
野々市バドミントンクラブ	バドミントン	高木 幸子	毎週金曜日 9:30 - 12:00 毎週木曜日 9:30 - 12:00 毎週水曜日 19:00 - 21:30	市民体育館 スポーツセンター 野々市中学校
ののいちレインボー	トランポリン	桑野 しのぶ	毎週水曜日 10:00 - 12:00	市民体育館
風雅(ふうが)	ヒップホップダンス	米村 章史	毎週水曜日 10:00 - 11:30	スポーツセンター
野々市レディーススイミングクラブ	水泳	川島 外市子	毎週月・木曜日 10:00 - 12:00	スポーツランドプール
T・V・C	バレーボール	坂尻 悅子	毎週火・金曜日 19:00 - 21:30	菅原小学校
サクセス	バレーボール	東 久美子	毎週月曜日 19:00 - 21:30	菅原小学校
みそのクラブ	バレーボール	中浦 由美	毎週月・木曜日 19:30 - 21:30	御園小学校
あやめクラブ	トリムバレーボール	井戸谷 文子	毎週水曜日 19:00 - 21:30	御園小学校
野々市ラブリー	バレーボール	六田 雅子	毎週火曜日 19:00 - 21:30 毎週金曜日 19:00 - 21:30	館野小学校 市民体育館
野々市ドラえもん	ソフトボール	表 光男	毎週火曜日 19:00 - 21:00	中央公園運動広場
ボディA	健康増進の為の運動	二木 あい	毎週火曜日 19:00 - 20:20	スポーツセンター
フルテーズ	バレーボール	森 栄子	毎週水曜日 19:30 - 21:30	菅原小学校
WEED	バスケットボール	中江 洋美	毎週木曜日 19:00 - 21:30	野々市中学校
アクアピックス2000	アクアピックス	早川 恵子	毎週金曜日 10:00 - 11:30	スポーツランドプール
SCDマリーゴールド	スクティッシュカントリーダンス	無量井 澄子	毎週火曜日 13:00 - 15:00	スポーツセンター
N'with	バレーボール	永井 博美	毎週月曜日 19:00 - 21:30	富陽小学校
なぎなた愛好会	なぎなた	今本 悅子	毎週木曜日 19:30 - 21:00	武道館

《一般対象》(20クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動日時	活動場所
フレッシュテニスクラブ茜	フレッシュテニス	宮地 喜久恵	毎週金曜日 9:30 - 12:30	市民体育館
野々市町トランポリン愛好会	トランポリン	横浜 猛夫	毎週金曜日 19:00 - 21:00	市民体育館
グリップクラブ	バドミントン	林 実	毎週火曜日 19:00 - 21:20	市民体育館
ファイアークロス石川	ソフトバレーボール	五香 満就	毎週月曜日 19:00 - 21:00	市民体育館
野々市卓球愛好会	卓球	今村 正男	毎週火曜日 19:00 - 21:00	スポーツセンター
タウンビート	ジャズダンス	源田 葉子	毎週月曜日 19:15 - 21:00	スポーツセンター
野々市町ハウンドテニスクラブ	ハウンドテニス	梶岡 清美	毎週火曜日 19:00 - 21:00 毎週木曜日 10:00 - 13:00	スポーツセンター
野々市サッカークラブ	サッカー	高橋 朋昭	4~10月毎週火・金曜日 19:00 - 21:00 11~3月毎週水・木曜日 19:00 - 21:00	布水中学校 富陽小学校
野々市空手同好会	空手道	上田 侑弘	毎週月・木曜日 18:00 - 21:00	武道館
ブティエトワール	クラシックバレエ	三国 康代	毎週水曜日 16:30 - 20:30	スポーツセンター
野々市町スノーボード協会	スノーボード	辰野 文治		白山麓スキー場
少林寺拳法 石川野々市支部	少林寺拳法	石原 晋	毎週火・土曜日 18:30 - 21:30	武道館
野々市太極拳クラブ	武術太極拳	高野 晃	毎週木曜日 19:30 - 21:00	スポーツセンター
野々市クラブ	バスケットボール	中村 義彦	毎週水・木曜日 19:00 - 21:00	スポーツセンター・野々市小
館野バドミントンサークル	バドミントン	坂戸 耕洋	毎週月曜日 19:30 - 21:00	館野小学校
野々市町走ろう会	ジョギング	目名 進	毎週日曜日 6:00 - 7:00	フォルテ周辺
野々市町レクリエーション協会	レクリエーション活動	村田 博之	毎週水曜日 11:15 - 12:45	市民体育館
びゅあーズ	ソフトバレーボール	中島 哲也	毎週火・金曜日 19:00 - 21:30	御園小学校
楽しい山の会	登山	上野 喜紹	毎月第1日曜 6:30 - 19:00	石川県内外
will (ウイル)	トリムバレーボール	中條 久美子	毎週金曜日 19:00 - 21:30	野々市中学校

《高齢者対象》(2クラブ)

クラブ名	活動内容	代表者	活動日時	活動場所
野々市若葉健康クラブ	軽スポーツ等	山森 義之	毎週水・土曜日 9:30 - 11:00	市民体育館
野々市椿健康クラブ	軽スポーツ等	田川 修身	毎週水・土曜日 9:30 - 11:00	スポーツセンター

3. 体育施設

(1) 社会体育施設

ア. 施設概要

施設名	位置	規模	施設内容	建設年月日
野々市町民体育館	下林 3丁目97	4,433m ² 駐車場 2,303	大体育室 (42.40m×34.45m) 小体育室 (22.00m×13.50m) トレーニング室 ランニングコース (1周148m) 会議室	昭和55年11月30日
野々市町武道館	字位川183	1,072	柔道場 (14.92m×18.42m) 剣道場 (14.92m×22.10m) 研修室	昭和53年1月12日
野々市町弓道場	太平寺 3丁目128	860	射場棟 (89.43m ²) 的場棟 (26.75m ²)	昭和56年9月30日
野々市町民野球場 雨天練習場	下林3丁目	14,754 168	両翼91.5m 中堅120m 管理棟スコアボード 内野スタンド 1,300人 → 収容 外野スタンド 1,600人 → 収容 夜間照明(12,778m ²)内野(1,150ルックス) 外野(600ルックス)照明塔(6基) 野球・ソフトボール投球練習用 2面	昭和61年9月29日 昭和62年12月15日
野々市町相撲場	下林3丁目	886	入母屋型屋根付 (照明有) 観客約400席	昭和63年8月31日
野々市中央公園 テニスコート	下林3丁目	1,600	全天候型コート 2面 夜間照明 被照明面積 (1,600m ²) 平均照度 (250ルックス) 照明塔 (4基)	昭和55年3月30日
野々市中央公園 運動広場	下林3丁目	9,123	ソフトボール場 1面 夜間照明 被照明面積 (8,000m ²) 平均照度 (350ルックス) 照明塔 (6基)	昭和55年11月30日
ジョギングコース	下林3丁目		ジョギングコース ブルーコース 1,200m レッドコース 900m イエローコース 500m	平成2年3月26日
野々市町 簡易運動広場	太平寺 3丁目129	6,500	球技場 } (2,700 m ²) ゲートボール場 } コート 3面 テニスコート (2,200m ²) クレコート 3面 ストリートバスケットコート } 芝生広場 1面 } (1,600 m ²)	昭和56年9月20日 平成13年1月31日
野々市町健康広場	上林 1丁目180	16,713	ソフトボール場 2面 ジュニア用サッカー場 1面 管理棟	昭和53年3月30日
押野中央公園 運動広場	押野 1丁目339	5,860	ソフトボール場 1面	昭和61年3月25日

イ. 施設の利用について

施設名	位置	規模	施設内容	建設年月日
野々市町 スポーツランド	中林 5丁目1-1	25,276m ²	○プール 研修室 40名収容 競泳用温水プール 25m×15m 児童用温水プール 10.5m×6.3m トレーニングプール、ジャグジー プール ウォーターアスレチックプール 16m×22m 流水プール 72m×5 m ○さわやかホール クレー舗装ゲートボールコート 2面 ○テニスコート 砂入り人工芝コート 4面 〃 壁打ちコート 1面 夜間照明 被照明面積 2,700m ² 平均照度 350ルックス 照 明 塔 20基 ○ふれあい広場 芝張り多目的広場 3,713m ²	平成4年3月25日
野々市町 スポーツセンター	押野 2丁目30	5,542	アリーナ (44.5m×33.4m) サブアリーナ (22.6m×12.3m) ランニングコース (1週160m) トレーニングルーム 会議室	平成3年11月29日

ウ. 施設の利用状況

平成17年度 野々市町体育施設の利用状況および使用料報告

単位:人、円

施設名	利用件数	利用者総数	使用料
町民体育館	23,521	59,598	1,143,900
町民野球場	502	12,258	1,283,150
中央公園テニスコート	923	2,804	786,850
スポーツセンター	27,082	62,614	1,624,450
武道館	901	23,805	87,500
簡易運動広場	4,282	17,587	0
中央公園運動広場	203	11,428	215,325
押野中央公園	151	4,974	214,500
健康広場	89	4,967	230,000
相撲場	4	343	0
スポーツランドテニスコート	7,114	18,815	1,612,850
〃 さわやかホール	1,683	8,664	453,850
〃 プール	37,549	45,768	9,416,925
〃 研修室	30	219	1,200
合計	104,034	273,844	17,070,500

(2) 学校体育施設

ア. 施設概要

施 設 名	位 置	施 設 内 容
野々市小学校	本町5丁目3-1	運動場 7,232 m ² 体育館 1,120 m ²
御園小学校	稻荷4丁目128	運動場 13,211 m ² 体育館 1,321 m ²
菅原小学校	菅原町20-1	運動場 7,328 m ² 体育館 1,667 m ²
富陽小学校	中林5丁目70	運動場 10,228 m ² 体育館 957 m ²
館野小学校	押野3丁目71	運動場 12,521 m ² 体育館 1,423 m ²
野々市中学校	字三納300	運動場 13,100 m ² 体育館 2,018 m ² 被照明面積 7,000 m ² 平均照度 300 ルックス 照明塔 4 基
布水中学校	押野2丁目100	運動場 16,874 m ² 体育館 2,193 m ² 平均照度 350 ルックス 照明塔 6 基

イ. 施設の利用について

施 設 名	使 用 で き る 時 間	利 用 の 範 囲 等
野々市中学校	運動場	日曜日 午前8時30分～日没 社会教育関係団体のスポーツ活動 登録スポーツクラブ・連盟活動
	運動場 夜間照明	平 日 午後7時～午後9時
	体育館	午後7時～午後9時30分 登録スポーツクラブ活動を原則とします。
布水中学校	運動場	日曜日 午前8時30分～日没 社会教育関係団体のスポーツ活動 登録スポーツクラブ・連盟活動
	運動場 夜間照明	平 日 午後7時～午後9時
野々市小学校	運動場	平 日 午後4時～日没 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体育館	土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没 少年のスポーツ活動、社会教育関係団体のスポーツ行事を原則とします。
	体 育 館	平 日 午後4時～午後7時 土曜日 午後2時～午後5時 日曜日 午前8時30分～午後5時
菅原小学校	運動場	平 日 午後4時～日没 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体 育 館	土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没 登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、社会教育関係団体行事を原則とします。
	体 育 館	平 日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時
御園小学校	運動場	平 日 午後4時～日没 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体 育 館	土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没 登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、社会教育関係団体行事を原則とします。
	体 育 館	平 日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時
富陽小学校	運動場	平 日 午後4時～日没 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体 育 館	土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没 登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、社会教育関係団体行事を原則とします。
	体 育 館	平 日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時
館野小学校	運動場	平 日 午後4時～日没 社会教育関係団体のスポーツ活動 遊び場開放
	体 育 館	土曜日 午後2時～日没 日曜日 午前8時30分～日没 登録スポーツクラブ、少年のスポーツ活動、社会教育関係団体行事を原則とします。
	体 育 館	平 日 午後4時～午後9時30分 土曜日 午後2時～午後9時30分 日曜日 午前8時30分～午後5時
<p>※ 但し、使用できる日時については上記以外に学校教育上支障がないと認められた場合においては使用することができる。</p> <p>全施設とも12月28日～1月4日は使用不可。</p>		

ウ. 施設の利用状況(平成17年4月～平成18年3月)

H17年4月～H18年3月

		スポーツ少年団		一般クラブ		ナイターソフト連盟		社会教育関係		町内会等		町教育委員会関係等		スポーツ講習会・教室		その他		合計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
野々市小 運動場	141	4,200						2	1,045	2	375							145	5,620
	体育館	341	9,314	36	560			1	414									378	10,288
御園小 運動場	11	317						2	45									13	362
	体育館	140	3,988															140	3,988
菅原小 運動場	325	9,760	198	2,381				4	674									527	12,815
	小体育館	2	100															2	100
富陽小 運動場	256	9,774	178	2,564				4	502									194	8,104
	ブレイルーム	9	453					1	20									438	12,840
館野小 運動場	7	249																10	473
	体育館	174	7,396															7	249
野々市中 運動場	248	4,686	70	919				2	1,276	1	105							177	8,777
	体育館	3	135															322	6,231
布水中 運動場	316	7,797	85	1,641				2	515									3	135
	体育館																	122	7,701
小計	771	31,389	78	1,225	49	1,505		6	2,721	3	480							907	37,320
	体育館計	1,529	42,137	702	10,680			15	2,731									2,246	55,548
小計	20	666						2	45								22	711	
	ブレイルーム計	12	588					1	20								13	608	
総合計	2,332	74,780	780	11,905	49	1,505	24	5,517	3	480								3,188	94,187

各種委員会委員等

町 特 別 職

町 長 安 田 彦 三
助 役 杉 井 宏 美

教 育 委 員

委 員 長 北 本 正
職 務 代 理 鶴 見 光 男
委 員 喜 多 穎 一
〃 清 水 外 司 英
委員(教育長) 田 中 宣

野々市町就学指導委員会

委 員 長	島 田 昭三郎	
委 員	浅 井 恭 一	
〃	中 村 英 夫	
〃	森 下 千 鶴	
〃	西 村 優紀美	
〃	柴 多 壽 治	(野々市小学校)
〃	廣 瀬 修	(御園小学校)
〃	西 田 政 人	(菅原小学校)
〃	三 田 村 英 明	(富陽小学校)
〃	杉 本 英 一	(館野小学校)
〃	北 村 俊 一	(野々市中学校)
〃	竹 下 正 弘	(布水中学校)
〃	川 畑 佳代子	(子育てあんしん課長)
〃	中 村 慶 子	(押野保育園)
〃	西 本 正 明	(教育文化部長)
〃	中 田 静 夫	(学校教育課長)

社会教育委員会

議長	山本 邦 繼
委員	北 清 志 (～H18.5.31)
〃	北 村 俊 一 (野々市中学校)
〃	中 野 恵 美 子
〃	西 田 政 人 (菅原小学校)
〃	西 脇 孝 二
〃	蓮 池 順 子
〃	林 浩 陽
〃	藤 多 典 子
〃	馬 渡 徳 子
〃	宮 川 渉
〃	村 上 維 喜
〃	山 谷 光 輝 (H18.6.1～)
〃	吉 道 悅 子

公 民 館 長 等

中央公民館	魚 野 孝次郎
野々市公民館	田多野 和 彦
富奥公民館	長 井 廣 長
郷公民館	星 場 外 也
押野公民館	塚 本 省 司
少年育成センター	山 本 邦 繼
女性センター	藤 田 恵 美
青少年センター	高 橋 賢 一 (生涯学習課長兼務)

公民館運営審議会

中央公民館

委 員	上 野 弘 子
"	小 倉 正一郎
"	北 弘 之
"	島 崎 浩 二
"	西 田 政 人
"	(菅原小学校)
"	福 井 輝 雄
"	藤 力
"	藤 村 惠 子
"	帆 莢 宏 典
"	山 谷 良 輪

野々市公民館

委 員	柴 多 壽 治	(野々市小学校)
"	島 崎 浩 二	
"	田 村 喜久恵	
"	中 野 恵美子	
"	藤 力	

富奥公民館

委 員	小 倉 正一郎
"	金 田 誠 治
"	辻 まさ子
"	林 正 一
"	三田村 英 明
	(富陽小学校)

郷公民館

委 員	岡 田 充 晴
"	廣 瀬 修
"	(御園小学校)
"	福 井 輝 雄
"	藤 田 嘉 孝
"	村 竹 治

押野公民館

委 員	加 藤 靖 二
"	北 弘 之
"	北 川 千 里
"	杉 林 郁 美
"	(館野小学校)

図書館運営協議会

委 員	赤 江 利 香
"	魚 住 慧 子
"	大 島 英 吉
"	奥 村 善 久
"	橋 野 千惠子
"	半 村 民 雄

女性センター運営委員会

委 員	大 村 礼 子
"	小 野 則 子
"	黒 部 美恵子
"	黒 保 悅 子
"	福 井 満佐美
"	宮 岸 幸 子

青少年問題協議会

会長	安田 彦三	(町長)
副会長	藤 力	
委員	石塚 靖志	
"	北村 俊一	(野々市中学校)
"	越野 廣行	
"	塚本 信吉	
"	能崎 喜吉	(野々市明倫高校)
"	廣瀬 修	(御園小学校)
"	藤多 典子	
"	宮崎 昭男	
"	北村 俊一	(野々市中学校)
"	山本 邦継	
"	川端 千恵子	(石川中央保健福祉センター)
"	高畠 茂生	(松任警察署)
"	田中 宣	(教育長)
"	北 精二	(健康福祉部長)
"	西本 正明	(教育文化部長)
幹事	中田 静夫	(学校教育課長)
"	高橋 賢一	(生涯学習課長)

少年育成センター運営協議会

委員	上野 貴司	(富陽小学校)
"	大島 洋行	
"	岡田 昇	
"	角田 敏	(野々市中学校)
"	絹川 博	
"	坂元 富喜子	
"	竹本 忠利	
"	土井 雅夫	(野々市交番)
"	中村 秀治	(布水中学校)
"	西出 隆則	(野々市明倫高校)
"	西村 雅之	
"	早川 彰一	
"	吉川 俊宏	

文化財保護審議会

会	長	徳	田	寿	秋
委	員	増	山	了	昭
"		三	浦	純	夫
"		東	四柳	史	明
"		小	林	忠	雄

スポーツ振興審議会

会	長	山	口	直
副	会	黒	山	茂
委	員	森	田	志
"		橋	本	孝
"		南	部	枝

学校体育施設開放運営委員会

委 員	角 田 敏	(野々市中学校)
"	中 村 秀 治	(布水中学校)
"	酒 師 耕一郎	(野々市小学校)
"	橋 口 有 康	(御園小学校)
"	濱 田 利 幸	(菅原小学校)
"	上 野 貴 司	(富陽小学校)
"	板 倉 順 子	(館野小学校)
"	西 村 敬 司	
"	泉 新 一	
"	坂 井 晴 夫	
"	川 東 征 典	
"	橋 浦 勇 巳	
"	石 島 宏 宏	
"	高 木 幸 子	
"	押 田 克 夫	
"	坂 尻 悅 子	
"	魚 谷 龍 平	
"	中 田 静 夫	(学校教育課長)

体育指導委員連絡協議会

会 長	長 谷 川 芳 彦
副 会 長	大 崎 正 枝
"	南 部 直 枝
委 員	西 川 和 夫
"	西 野 辰 雄
"	山 崎 昌 彦
"	堀 順一郎
"	安 中 秀 行
"	米 町 俊 充
"	藤 井 誠
"	市 本 仁 子
"	長 田 正 子
"	風 無 信 子
"	北 早代子
"	黒 瀬 千代子
"	一ノ谷 美知子
"	竹 内 豊
"	前 田 健 二
"	森 岡 孝 之
"	松 本 寿 美

町立学校長等

野々市小学校	校長	柴多壽治	教頭	酒師耕一郎
御園小学校	〃	廣瀬修	〃	橋口有利康
菅原小学校	〃	西田人	〃	濱田幸司
富陽小学校	〃	三田村明	〃	上野貴順
館野小学校	〃	杉本英一	〃	板倉子
野々市中学校	〃	北村俊一	〃	角田敏
布水中学校	〃	竹下弘	〃	中村秀治

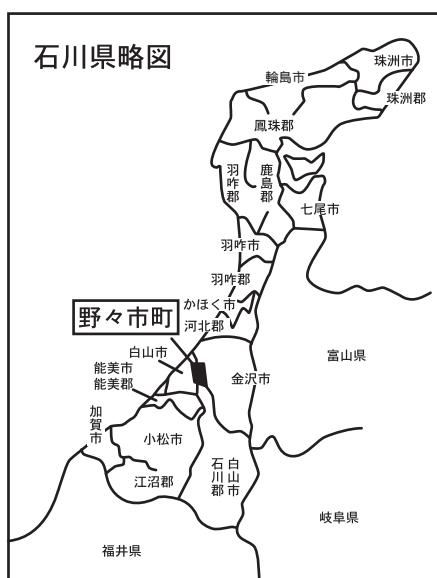
北陸学院短期大学附属扇が丘幼稚園	園長	井上良彦
青竜第二幼稚園	〃	和田節子
石川県立野々市明倫高等学校	校長	能崎吉喜
石川県立養護学校	〃	北濃喜一
石川県立明和養護学校	〃	竹田賢輔
石川県立大学	学長	丸山利輔
金沢工業高等専門学校	校長	山田弘文
金沢工業大学	学長	石川憲一

歴代教育委員

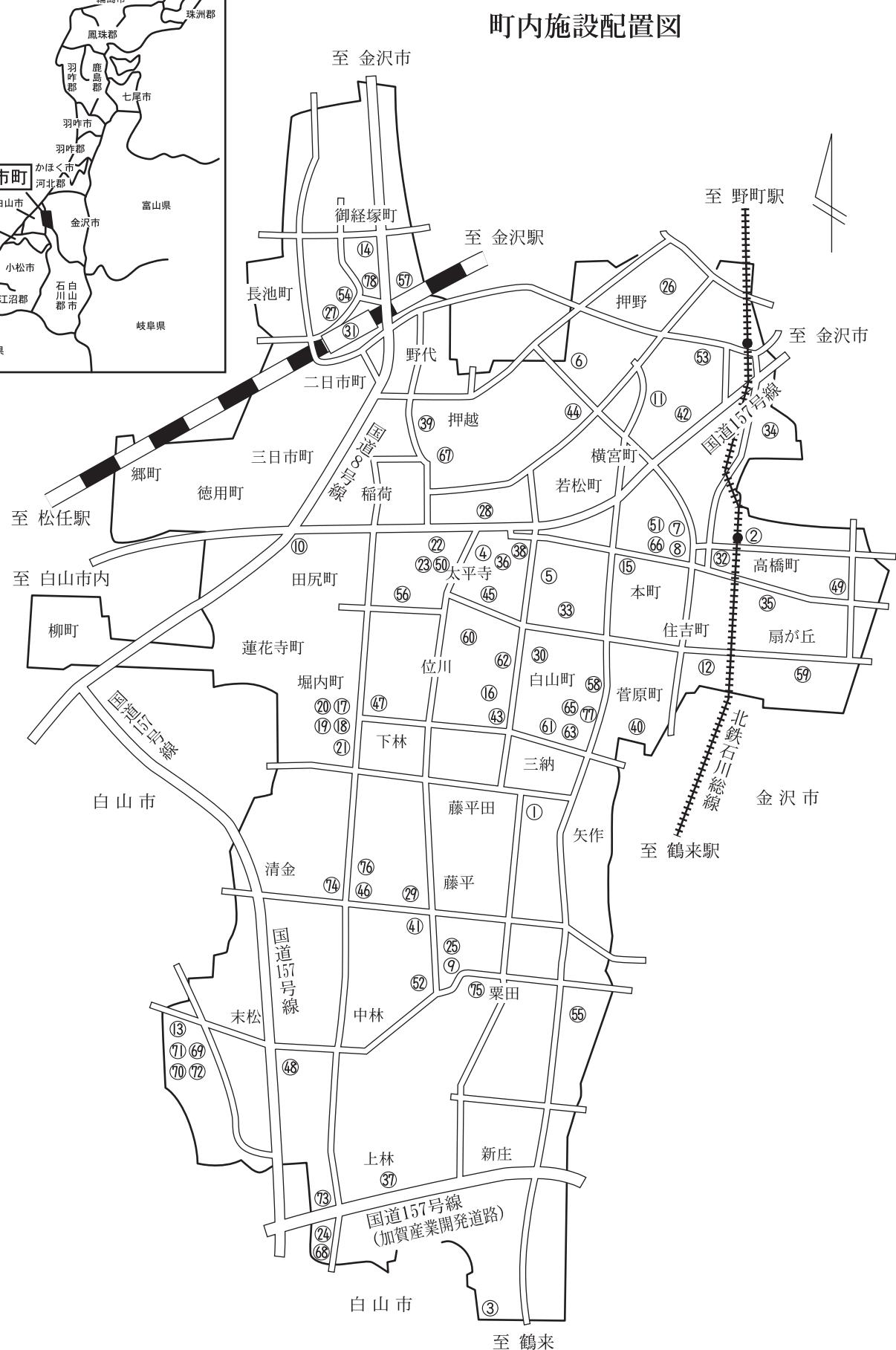
氏名	就任年月日	退任年月日	備考
中島栄治	31. 10. 1	34. 1. 31	委員長 31.10. 1～34. 1.31
福田栄正	31. 10. 1	32. 9. 30	
西村伸一郎	31. 10. 1	42. 9. 30	委員長 34. 2. 1～42. 9.30
中川直二	31. 10. 1	47. 3. 31	委員長 42.10. 1～47. 3.31
松崎時哉	31. 10. 1	35. 9. 30	教育長
中山知二	32. 10. 1	36. 3. 31	
河村好一郎	34. 4. 1	46. 3. 29	
長田健	35. 10. 1	37. 10. 28	教育長
小柳正明	36. 4. 1	47. 3. 9	
竹内保之	37. 12. 18	46. 12. 16	教育長
中野栄吉	42. 10. 1	46. 9. 30	
中野久男	46. 6. 11	59. 9. 30	委員長 47. 4. 1～51. 9.30
宮前和夫	46. 10. 1	58. 9. 30	委員長 51.10. 1～55. 9.30
中田哲	46. 12. 24	51. 9. 30	教育長
魚住正元	47. 3. 10	45. 3. 12	
岡田一郎	47. 6. 30	57. 9. 30	委員長 55.10. 1～57. 9.30
絹川清	51. 3. 12	54. 12. 20	
埜谷博	51. 10. 1	55. 9. 30	教育長(就任 51.10. 7)
宮岸光	54. 12. 21	6. 5. 26	委員長 57.10. 1～61. 9.30
東谷弘	55. 10. 1	8. 9. 30	教育長
坂本六郎	57. 10. 1	6. 9. 30	委員長 61.10. 1～ 2. 9.30
木村博	58. 10. 1	62. 9. 30	
高桑繁	59. 10. 1	12. 9. 30	委員長 2.10. 1～ 6. 9.30
矢野喜一郎	62. 10. 1	7. 9. 30	委員長 6.10. 1～ 7. 9.30
喜多禎一	6. 6. 20	在任中	委員長 7.10. 1～11. 9.30
清水外司英	6. 10. 1	"	委員長 11.10. 1～15. 9.30
宮前定夫	7. 10. 1	14. 9. 30	
田村昌俊	8. 10. 1	16. 9. 30	教育長
北本正	12. 10. 1	在任中	委員長 15.10. 1～
鶴見光男	14. 10. 1	"	
田中宣	16. 10. 1	"	教育長 16.10. 1～

町内施設住所・電話番号一覧

名 称	住 所	電話番号	名 称	住 所	電話番号
公 共 施 設					
①野々市町役場	野々市町三納18街区1	227-6000	③8野々市小学校	野々市町本町5丁目3-1	248-0084
①野々市町教育委員会	"	227-6111	⑨御園小学校	" 稲荷4丁目128	248-3201
①野々市町情報交流館	"	227-6200	⑩菅原小学校	" 菅原町20-1	248-6066
②野々市町水道管理センター	高橋町3-33	248-5000	⑪富陽小学校	" 中林5丁目70	246-4380
③野々市町高区浄水場	新庄2丁目22	248-3828	⑫館野小学校	" 押野3丁目71	248-0622
④野々市町文化会館	本町5丁目4-1	248-8000	⑬野々市中学校	" 字三納300	246-0115
⑤野々市町教育センター	本町4丁目21-27	248-8456	⑭布水中学校	" 押野2丁目100	248-0039
⑥野々市町少年育成センター	"	294-8815	⑮県立養護学校	" 太平寺4丁目164	248-0661
⑦野々市町スポーツセンター	押野2丁目30	294-5511	⑯県立明和養護学校	" 中林4丁目70	246-1133
⑧野々市町中央公民館	本町2丁目1-20	248-0521	⑰県立野々市明倫高等学校	" 下林3丁目309	246-3191
⑨野々市町野々市公民館	"	248-0521	⑲石川県立大学	" 末松1丁目308	227-7220
⑩野々市町少年センター	本町2丁目14-6	248-8099	⑳金沢工業大学	" 扇が丘7-1	248-1100
⑪野々市町青年センター	中林5丁目3	248-0829	㉑野々市町学校給食センター	" 太平寺3丁目148	246-3066
⑫未松廃寺収蔵庫	字田尻町94	248-0250	社会福祉施設		
⑬野々市町埋蔵文化財収蔵庫	押野3丁目70	248-2839	㉓中央保育園	本町3丁目2-22	248-0240
⑭野々市町ふるさと歴史館	住吉町17-10	246-0250	㉔富奥保育園	中林5丁目30	248-0828
⑮野々市町郷土資料館	未松2丁目		㉕押野保育園	押野3丁目115	248-0343
⑯野々市町武道館	御経塚1丁目182	246-0133	野々市町押野児童館	"	248-9666
⑰野々市町民体育館	"	246-0133	野々市町子育て支援センター	"	
⑱野々市中央公園テニスコート			㉗御経塚保育園	御経塚1丁目288	248-0181
⑲野々市中央公園運動広場			㉘栗田保育園	栗田1丁目126	246-3737
㉑野々市町相撲場			㉙堀内保育園	堀内4丁目144	248-2320
㉒野々市町民野球場			㉚あすなろ保育園	御経塚5丁目30	246-0211
㉓野々市町簡易運動広場	太平寺3丁目129		㉛白山保育園	白山町4-1	248-4337
㉔野々市町弓道場	太平寺3丁目128	248-0067	㉜和光保育園	扇が丘18-13	248-6250
㉕野々市町健康広場	上林1丁目339		㉝つばき保育園	太平寺1丁目302	248-1155
㉖野々市町スポーツランド	中林5丁目1-1	294-5800	㉞野々市町保健センター	字三納500番-1	248-3511
㉗野々市中央公園運動広場	押野1丁目180		㉟社会福祉法人野々市町社会福祉協議会	本町5丁目18-5	246-0112
㉘野々市町交遊舎	二日市1丁目2	294-8166	㉙野々市町老人福祉センター椿荘	矢作3丁目1-2	246-5570
㉙松任警察署野々市交番	本町6丁目22-2	248-0059	㉚野々市町中央児童館	"	248-5325
㉚松任警察署野々市南交番	藤平138-1	294-1500	㉛野々市デイサービスセンター	矢作3丁目3	248-9900
㉛松任石川広域事務組合	本町5丁目17-8	248-5516	㉜野々市町本町児童館	本町3丁目10-12	246-3881
野々市消防署	字二日市612	248-0100	㉝野々市町女性センター	稲荷4丁目155	246-0810
㉜J R野々市駅	本町2丁目11-10	294-8303	㉞石川県百々鶴荘	上林1丁目179	248-4775
㉝社団法人野々市町シルバー人材センター	白山町8-15	248-8037	㉟石川県立身体障害者授産所	未松2丁目229	248-9300
㉞野々市町史編纂室	本町1丁目2-50		㉟石川県障害者職業センター	未松2丁目244	246-2210
㉟野々市町防災コミュニティセンター	扇が丘97-6	248-3412	㉟石川障害者職業能力開発校	未松2丁目245	248-2235
㉟のいちまち地域安全センター			㉟社会福祉法人石川サニーイト	未松2丁目239	246-2371
学 校 施 設			㉟石川県としよりと子供の健康ひろば	上林2丁目185	246-0130
㉟北陸学院短期大学付属	本町5丁目6-23	248-1501	㉟ときわ病院	中林4丁目123	248-5221
扇が丘幼稚園			㉟社会福祉法人けやき野苑	中林1丁目1-1	248-4871
㉟青竜第二幼稚園	上林3丁目167	248-5656	㉟特別養護老人ホーム富樫苑	中林4丁目62	248-8765
			㉟野々市町いきがいセンター矢作	矢作3丁目2-10	246-2007
			㉟野々市町いきがいセンター御経塚	御経塚1丁目38	248-2231



石川県略図



町内施設配置図